

## 第 3 編

### 通信・情報設備工事

# 端子盤1

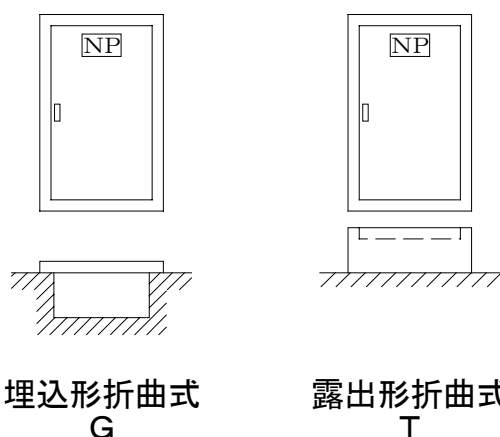
# 端子盤、集合保安器箱

## (1) 記号

キャビネット形式		端子板又は集合保安器		列数		
		種類	実装数と容量			
G	埋込形 折曲式	B	B形	実装数/容量*	1	1列
		E1	E1形		2	2列
		E2	E2形		3	3列
T	露出形 折曲式	D	D形		4	4列
		F	F形		5	5列
		G	G形		6	6列
		H	集合保安器			

注 \* 実装数/容量は、対数(P)を示す。

## (2) キャビネット形式



備考 図は、一例を示し、前面枠の取付方法、枠幅の大小、周囲又は上下に枠のないもの、二段ドア、両開き等の形状の詳細は、拘束しない。

## (3) 表示例

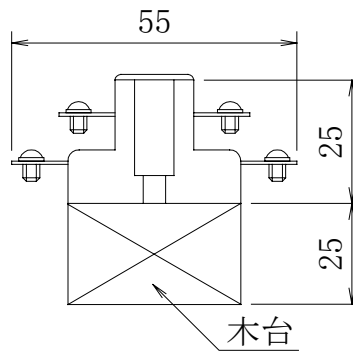
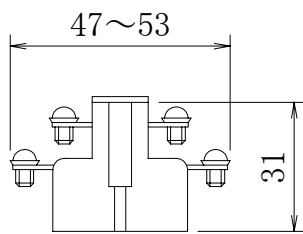
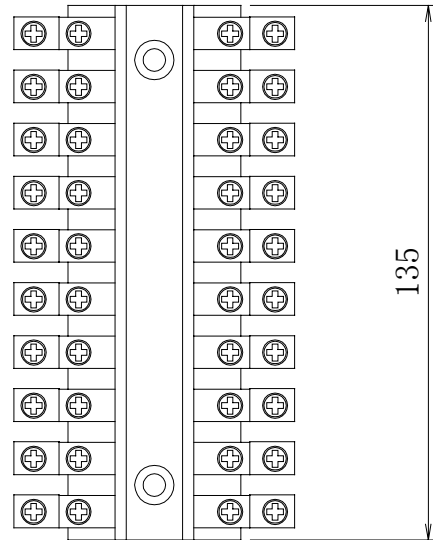
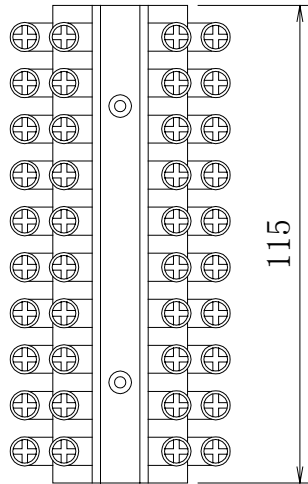
	記号	説明
例1	GF-70/90-3	キャビネット形式G形、端子板の種類F形、端子板の容量90P、実装70P、端子板の列数3の端子盤
例2	TH-0/20-2	キャビネット形式T形、集合保安器容量20P、実装0、通信用SPDの列数2の集合保安器箱
例3	T $\left[ \begin{array}{l} \text{H-0/15-1} \\ \text{E1-0/80-2} \end{array} \right]$	キャビネット形式T形、集合保安器(容量15P、実装0、列数1)及び端子板(種類E1形、容量80P、実装0、列数2)を収容する集合保安器箱

端子盤2

端子板 1

B・D

[単位 mm]



B形端子板  
(両ねじ)

D形端子板  
(両ねじ)

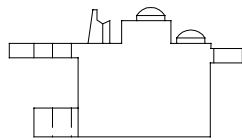
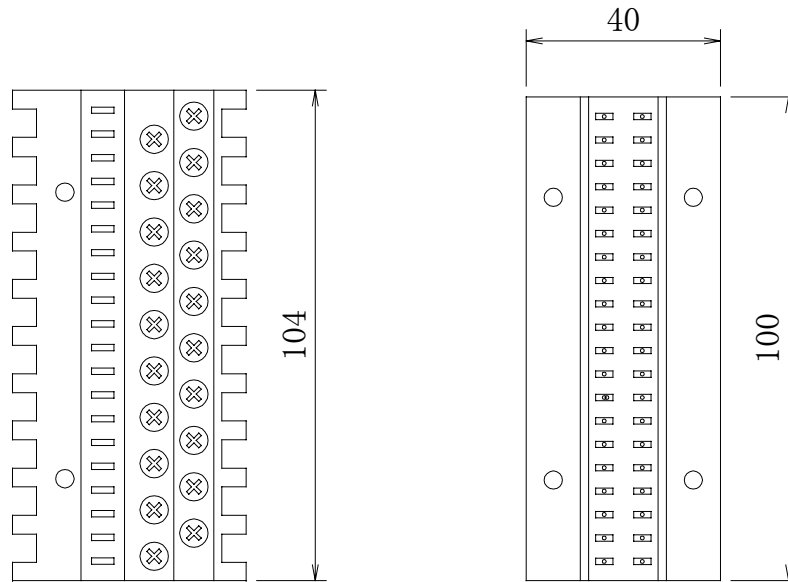
- 備考 (1) 形状及び寸法は、一例を示す。  
(2) 必要に応じ座金を使用する。

端子盤3

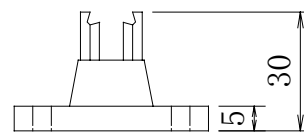
端子板 2

E1・E2

[単位 mm]



E1形 端子板  
(片ねじ、片クリップ)



E2形 端子板  
(両クリップ)

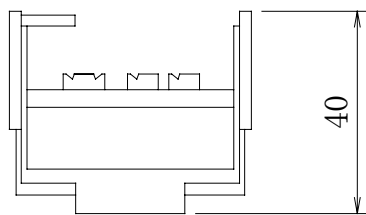
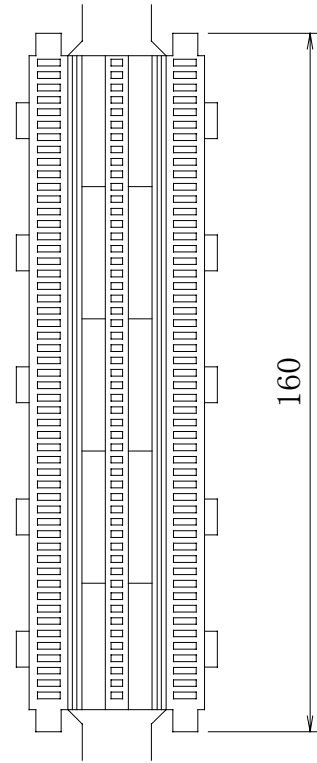
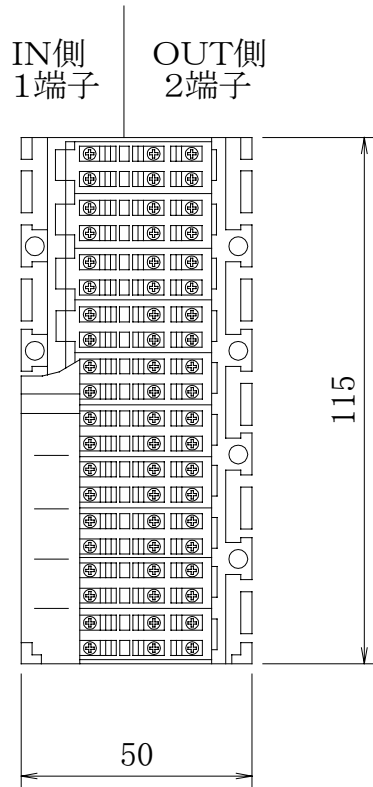
- 備考 (1) 形状及び寸法は、一例を示す。  
(2) 必要に応じ座金を使用する。

端子盤4

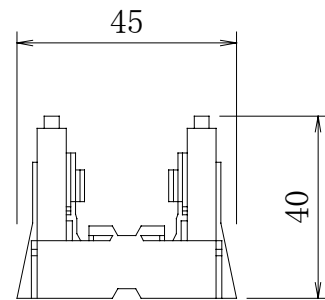
端子板 3

F・G

[単位 mm]



F形端子板(10対)



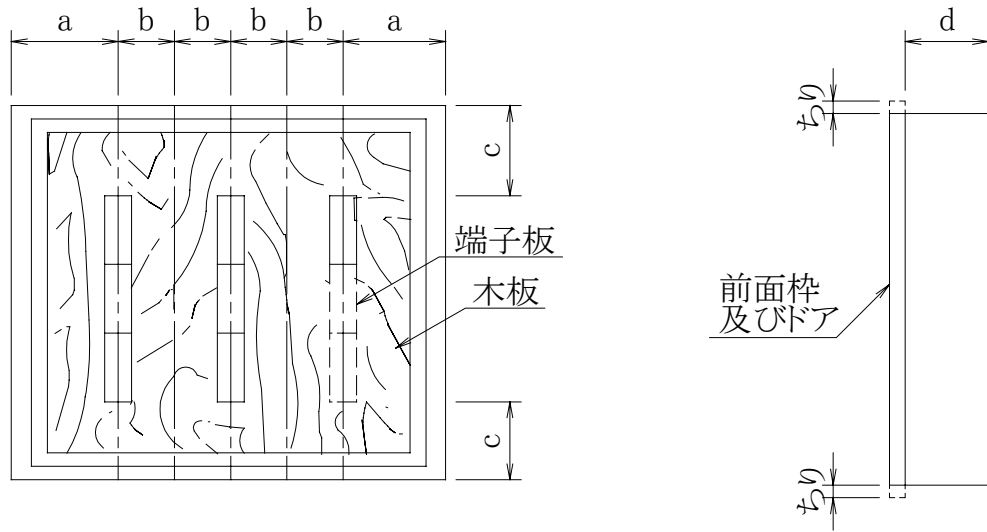
G形端子板(25対)  
(ブロック形パッチパネル)

備考 形状及び寸法は、一例を示す。

# 端子盤5

# 端子盤の標準寸法

[単位 mm]



備考 前面枠の破線部分は、埋込形の場合を示し、ちりは15~25mmとする。

## 標準寸法

1列の端子 列の対数 (最大)	B・E1・E2・F形端子板			D形端子板		
	a	b	c	a	b	c
10P	110	60	110	120	65	120
20P	120	60	120	130	65	130
30P	130	70	140	140	75	150
40P	140	70	160	150	75	170
50P	150	70	180	160	75	190
60P	160	85	200	170	90	210

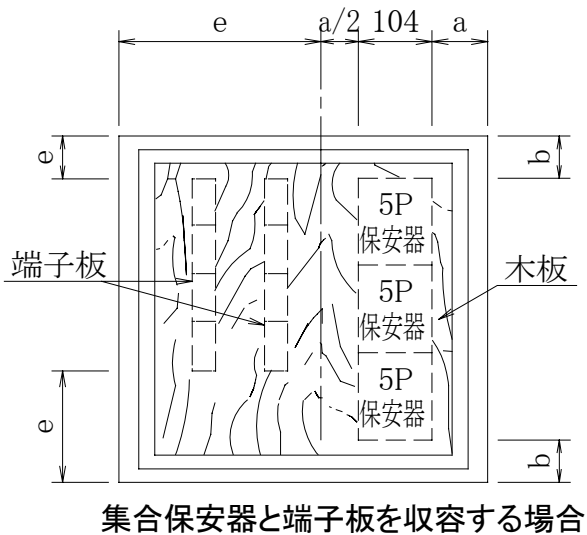
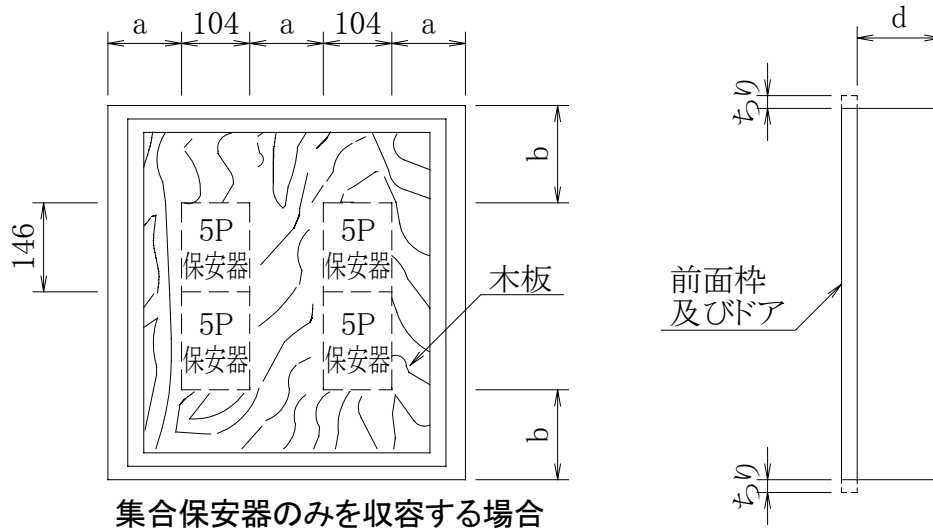
1列の端子 列の対数 (最大)	G形端子板			端子盤の容量	
	a	b	c		d
25P	110	70	110	40P以下	90
50P	150	70	180	40Pを超え150P以下	100
100P	190	90	250	150Pを超えるもの	120

- 備考 (1) 木板は、配線の施工に必要な大きさとする。  
 (2) セパレータを設ける場合は、セパレータと端子板間の距離を1.5bとする。  
 (3) 寸法は、最小値を示す。

# 端子盤6

# 集合保安器箱の標準寸法

[単位 mm]

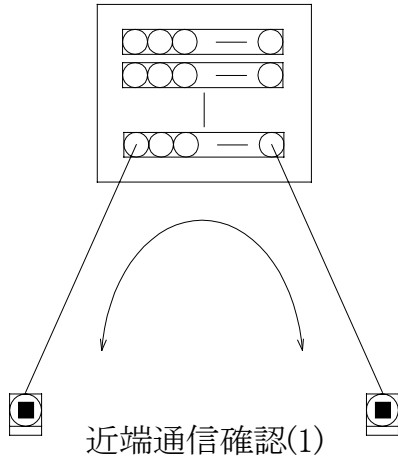


## 標準寸法

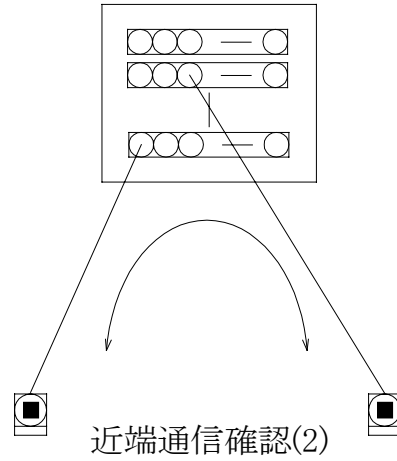
保安器の容量	a	b	d	e
40P以下	100	120	100	「端子盤の標準寸法」による。
40Pを超え80P以下	120	140	100	

- 備考 (1) 木板は、配線の施工に必要な大きさとする。  
 (2) 集合保安器と端子板を收容する場合で、端子板の合計が150Pを超えるものは、d寸法を120mmとする。  
 (3) 前面枠の破線部分は、埋込形の場合を示し、ちりは15～25mmとする。  
 (4) 寸法は、最小値を示す。

構内情報スイッチ網装置

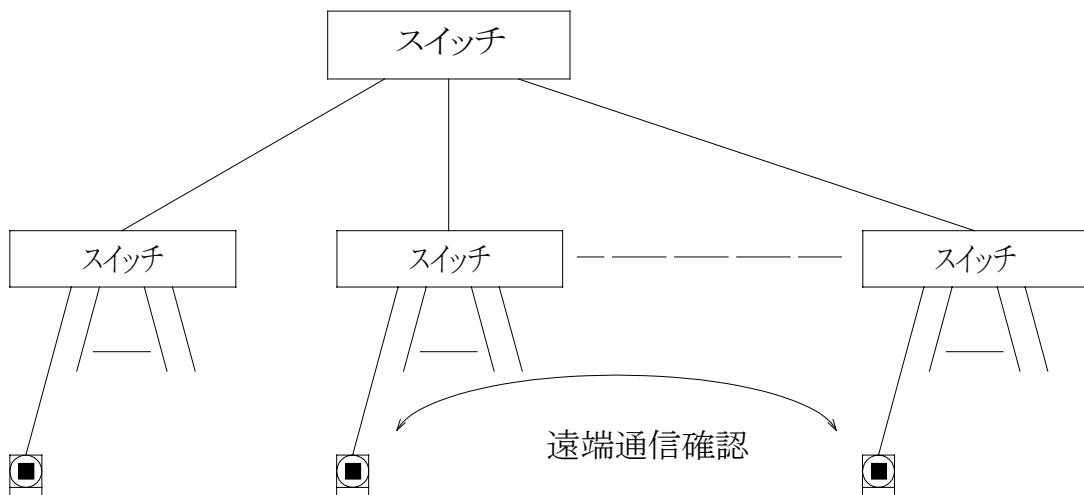


構内情報スイッチ網装置



○○○—○ インタフェースボード

近端通信確認



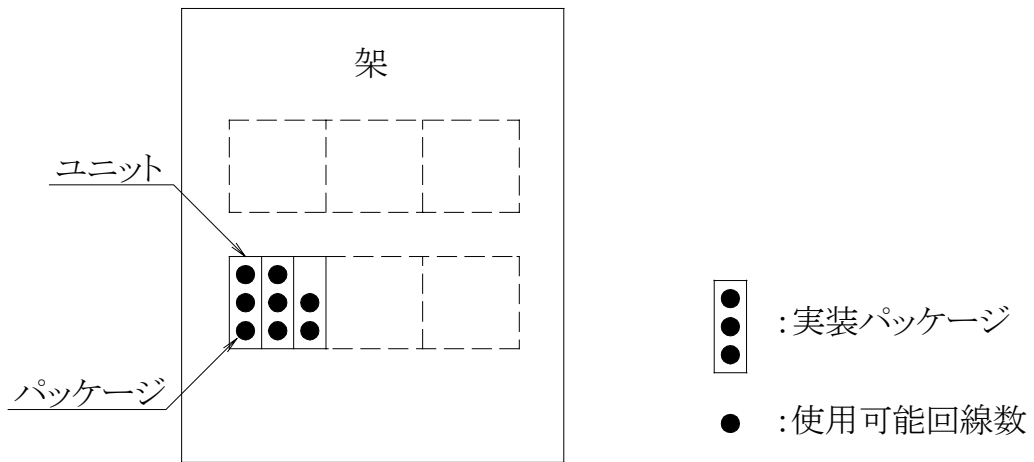
遠端通信確認



## 構内交換

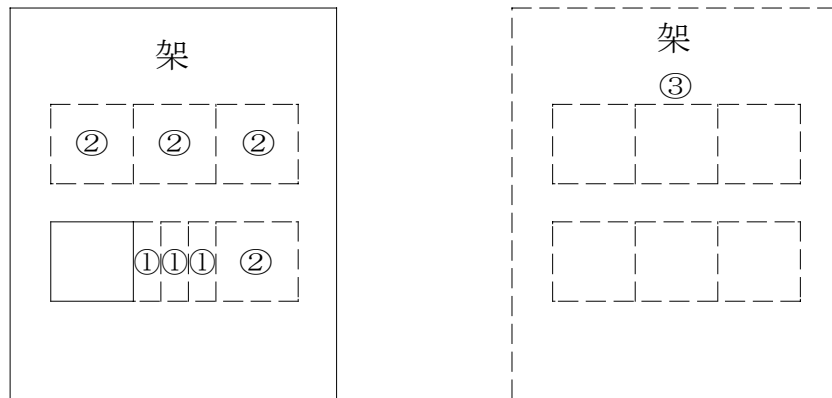
## 交換機の実装数／容量

### (1) 実装数



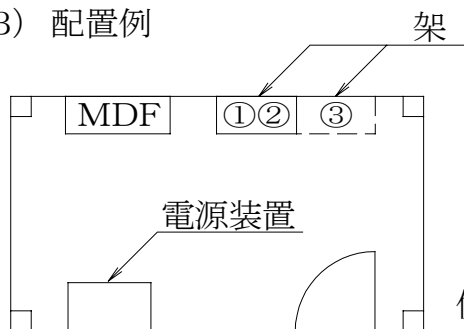
備考 当初に実装されたパッケージの範囲内で使用可能な回線数とする。

### (2) 容量



備考 ①パッケージの増設、②ユニットの増設、③架の増設等により収容可能となる回線数とする。

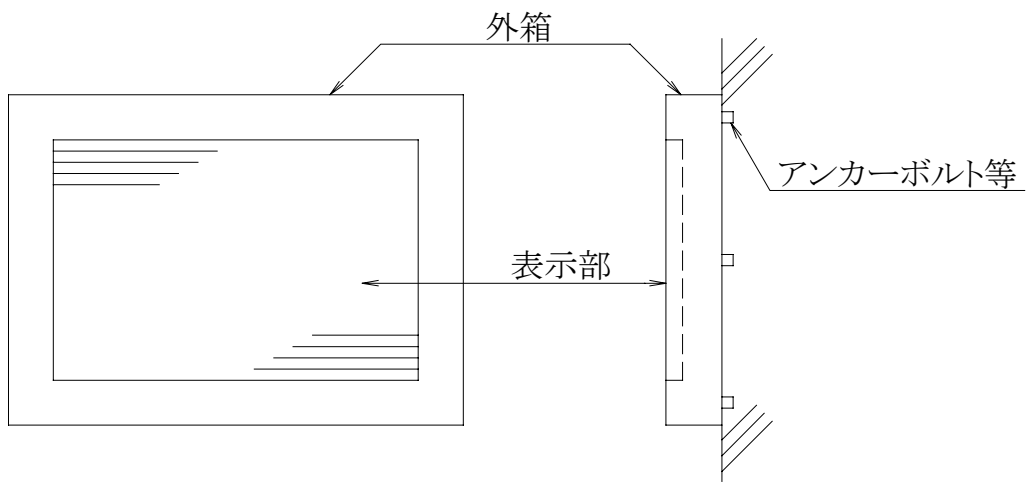
### (3) 配置例



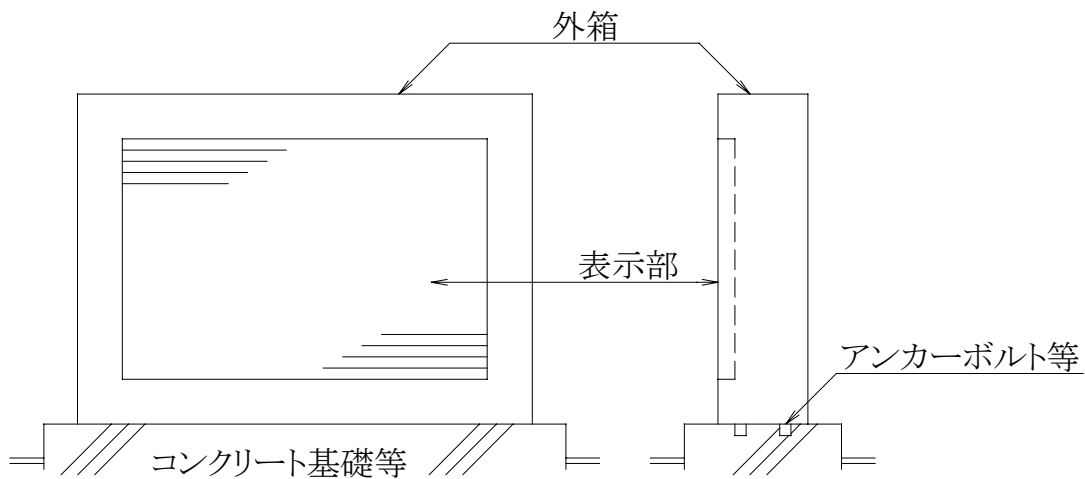
備考 電源装置は、容量に応じたものとする。  
ただし、ユニット又は架の中に電源装置の増設が可能な場合は、この限りではない。

記号

分類	表示	
	記号	内容
表示方式	JD4	発光ダイオード(4色)式
	JDF	発光ダイオード(フルカラー)式
	JP	プラズマ式
	JL	液晶式
形状	W	壁掛形
	V	自立形



壁掛形



自立形

備考 図は、一例を示す。

## 出退表示1発光ダイオード式表示盤の記号及び表示例

### (1) 記号

分類	表示		
	記号	内容	
機種	I <sub>P</sub>	パルス伝送式表示盤	
表示方式	2D	2モード形発光ダイオード	
	4D	4モード形発光ダイオード	
回路方式	1	発信回路を内蔵しないもの	
	2	発信回路を内蔵するもの*	
形状	W <sub>V</sub>	壁掛形で縦書のもの	
	W <sub>H</sub>	壁掛形で横書のもの	
表示窓の 大きさ	発光ダイ オード	10	30mm×100mm
窓数	Ⓝ	Ⓝ窓	

備考 卓上式表示器の記号もこれに準じる。ただし、表示窓の大きさ及び本体寸法は、製造者の標準とする。

注 \* 設計図書の機能を満足する場合に限り、発信器に内蔵することができる。

### (2) 表示例

	記号	説明
例1	I <sub>P</sub> 2D1W <sub>V</sub> 10-8	発信回路なし、壁掛形で縦書、窓数8、パルス伝送式2モード形発光ダイオード式表示盤
例2	I <sub>P</sub> 4D2W <sub>H</sub> 10-16	発信回路内蔵、壁掛形で横書、窓数16、パルス伝送式4モード形発光ダイオード式表示盤

## 出退表示2

## 発信器の記号及び表示例

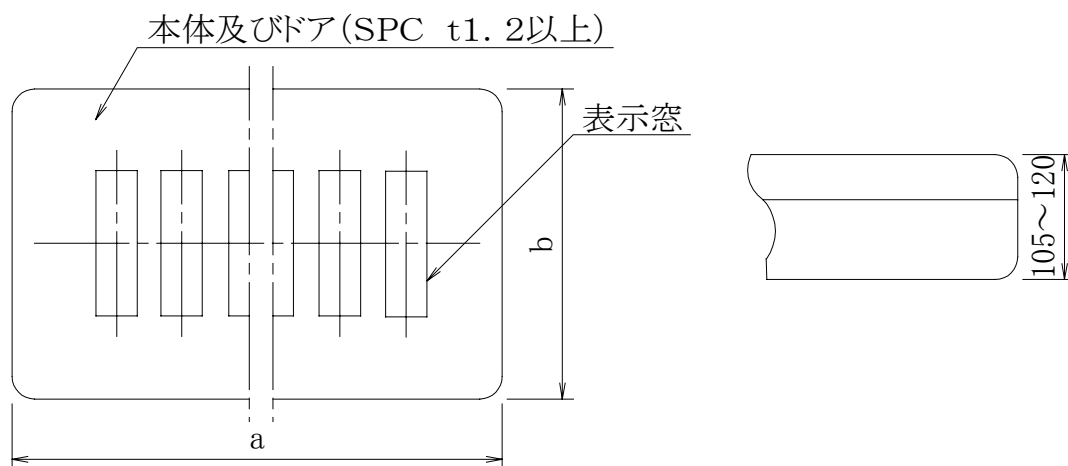
## (1) 記号

分 類	表 示	
	記 号	内 容
方 式	P	パルス伝送式
機 種	S	発信器
形 状	2、3、5	S2、S3、S5
形 式	F D <sub>v</sub>	埋込形 卓上形
発 信 数	⑩	発信数⑩

## (2) 表示例

	記 号	説 明
例	PS2F-1	パルス伝送式の発信器、形状S2、埋込形、発信数1

[単位 mm]



表示盤の寸法

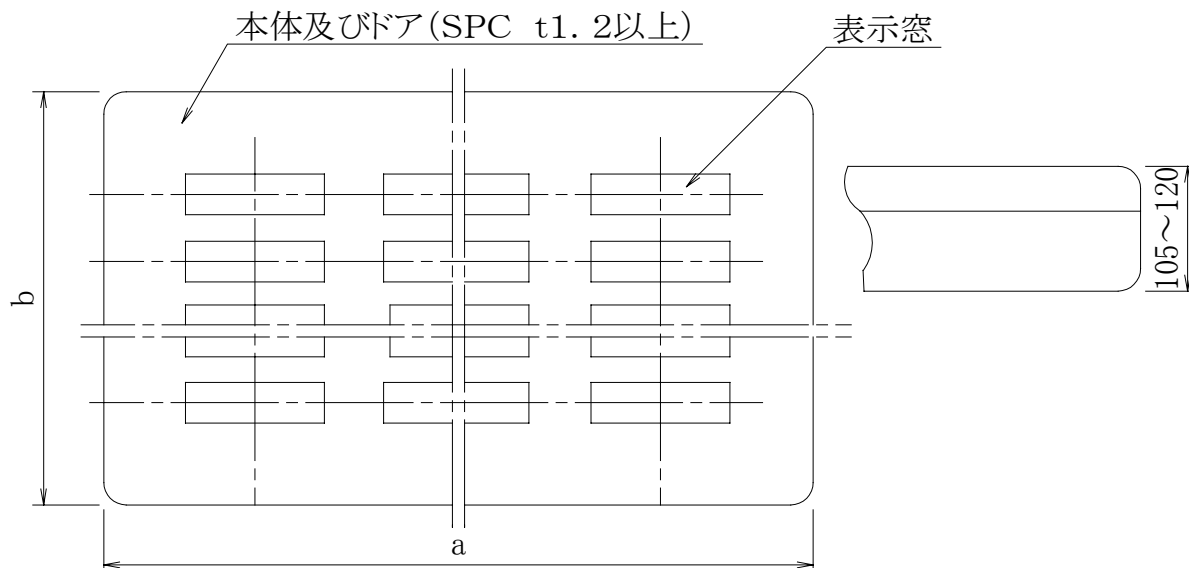
記号	窓数 ①	段数	寸法	
			a	b
I <sub>P</sub> ⓀD <sup>Ⓜ</sup> W <sub>V</sub> 10-①	2	1	275~400	200~250
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	8	2	275~400	300~360
	10			
	12			
	14			
	16			

- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
 (2) ⓀDは、2モード、4モードの別を示す。  
 (3) Ⓜ は、回路方式を示す。

出退表示4 表示盤、壁掛形、横書

W<sub>H</sub>

[単位 mm]



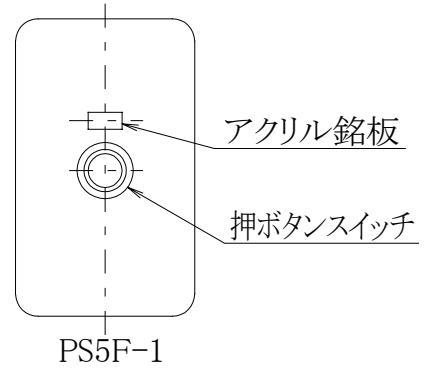
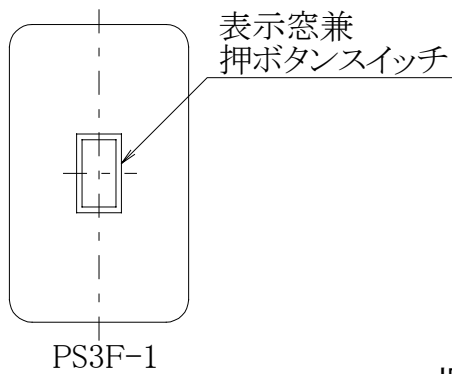
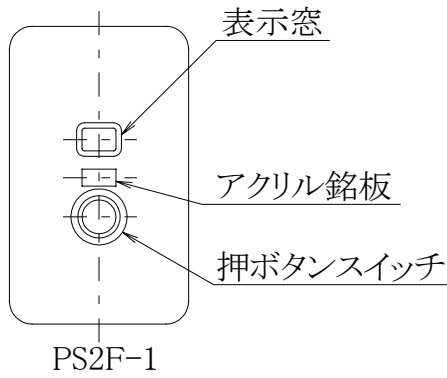
表示盤の寸法

記号	窓数 ①	段数	寸法	
			a	b
I <sub>P</sub> ⓀDⓂW <sub>H</sub> 10-①	2	1	360~400	185~250
	4	2		
	6	3	400~540	200~250
	12		400~680	
	16	4	540~680	250~275

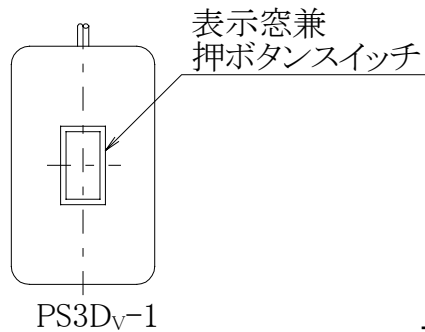
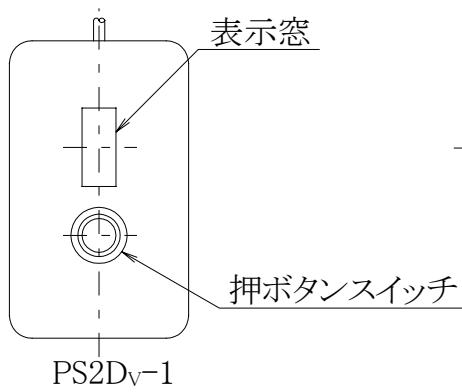
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
 (2) ⓀDは、2モード、4モードの別を示す。  
 (3) Ⓜは、回路方式を示す。

出退表示5 発信器(埋込形、卓上形)

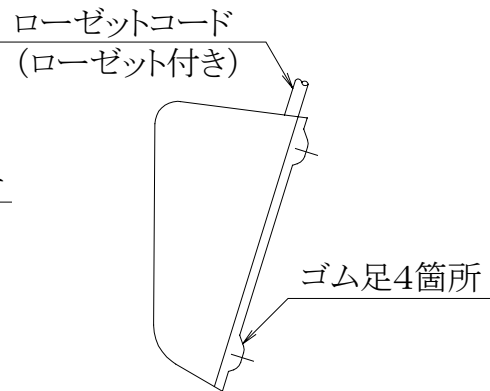
- PS2F-①
- PS3F-①
- PS5F-①
- PS2D<sub>v</sub>-①
- PS3D<sub>v</sub>-①



埋込形



卓上形



- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
 (2) 図は、発信数1の場合を示す。

## (1) 記号

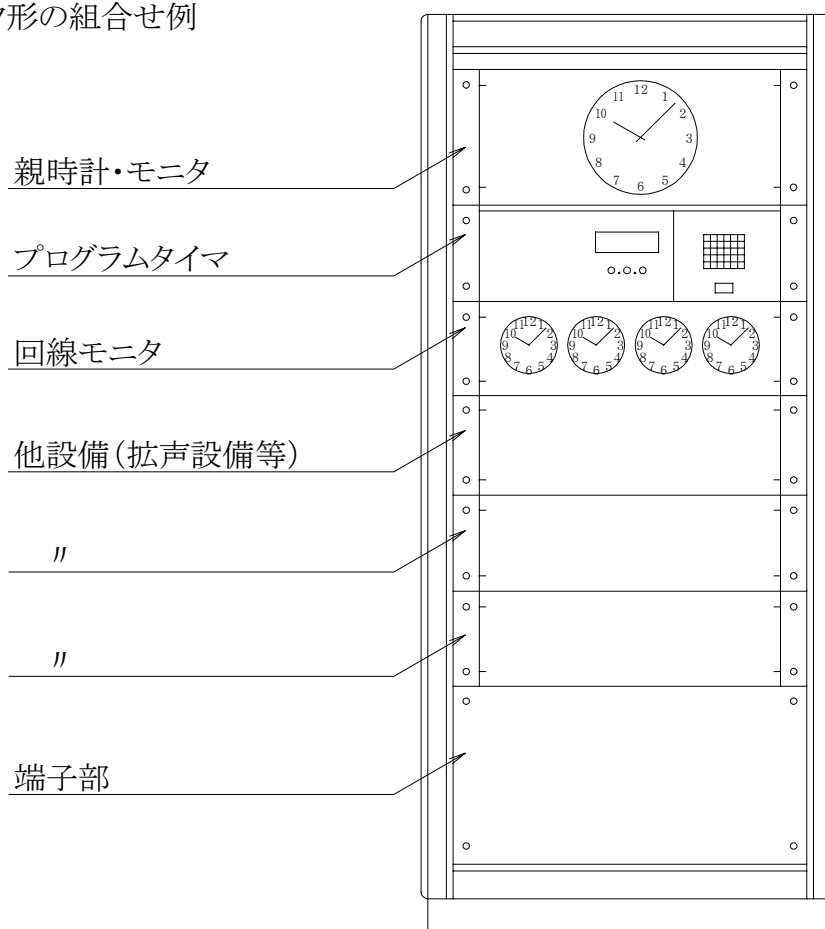
分類		表示	
		記号	内容
親時計の種類	ラック形	CR <sub>(m)</sub>	水晶式親時計 m回線
	壁掛形	CW <sub>(m)</sub>	
組込機器		P <sub>(n)</sub>	プログラムタイマ
		M	電子式チャイム

備考 (m)、(n) は、出力回線数及び回路数を記載する。

## (2) 表示例

	記号	説明
例	CR <sub>4</sub> -P <sub>1</sub> M	ラック形水晶式親時計4回線、1回路のプログラムタイマ及び電子式チャイム組込み

## (3) ラック形の組合せ例





## 時刻表示2

## 子時計の記号及び表示例

〔単位 mm〕

## (1) 記号

分類	表示			
	記号	内容		
時計の種類	S	アナログ子時計		
	D	デジタル子時計		
形式	W	壁掛形		
	E	半埋込形		
	F	埋込形		
	T	天井つり下げ片面形		
	Tw	天井つり下げ両面形		
	B	サイドブラケット片面形		
	Bw	サイドブラケット両面形		
アナログ子時計 公称寸法	R <sub>25</sub>	丸形	D=250	
	R <sub>30</sub>		D=300	
	R <sub>35</sub>		D=355	
	R <sub>42</sub>		D=425	
	A <sub>22</sub>	角形	縦寸法D <sub>1</sub>	横寸法D <sub>2</sub>
			260～270	260～270
	A <sub>33</sub>		310～325	310～325
	A <sub>23</sub>		250	355
A <sub>34</sub>	300		425	
A <sub>35</sub>	355	500		
デジタル子時計 公称寸法	H <sub>08</sub>	文字高	a= 80	
	H <sub>10</sub>		a=100	
	H <sub>12</sub>		a=120	
	H <sub>20</sub>		a=200	
アナログ子時計 表面	G <sub>p</sub>	表面 平面ガラス付		
	G <sub>R</sub>	表面 球面ガラス付		
	N	文字板及び文字片を露出し、 表面ガラスのないもの		
組合形	S <sub>PL</sub>	スピーカ組込(アッテネータ付)		
	S <sub>PS</sub>	片側スピーカ組込(アッテネータ付)		
	S <sub>PB</sub>	両側スピーカ組込(アッテネータ付)		
アナログ子時計 文字形式	A <sub>2</sub> ・B <sub>1</sub> ・B <sub>2</sub> ・D <sub>2</sub>	印刷文字		
	J <sub>1</sub> ・J <sub>2</sub> ・L <sub>1</sub> ・L <sub>2</sub>	文字片取付		
デジタル子時計 表示素子形式	LD <sub>1</sub>	液晶式透過形		
	LD <sub>2</sub>	液晶式反射形		

備考 (1) 記号の組合せ方法は、姿図による。

(2) 組合せ形は、子時計とスピーカを組合せる場合に適用する。

## (2) 表示例

	記号	説明
例1	SWA <sub>33</sub> -GpSpsB <sub>2</sub>	壁掛形アナログ子時計、角形公称寸法310mm×310mm 表面平面ガラス付、片側スピーカ付、文字板形式B <sub>2</sub> の子時計
例2	SEA <sub>23</sub> -NJ <sub>1</sub>	半埋込形アナログ子時計、角形公称寸法250mm×355mm 文字板及び文字片露出、文字板形式J <sub>1</sub> の子時計
例3	DTwH <sub>12</sub> -LD <sub>1</sub>	天井つり下げ両面形デジタル子時計、文字高公称寸法120mm 表示素子液晶式透過形

### 時刻表示3 アナログ子時計(壁掛形1)

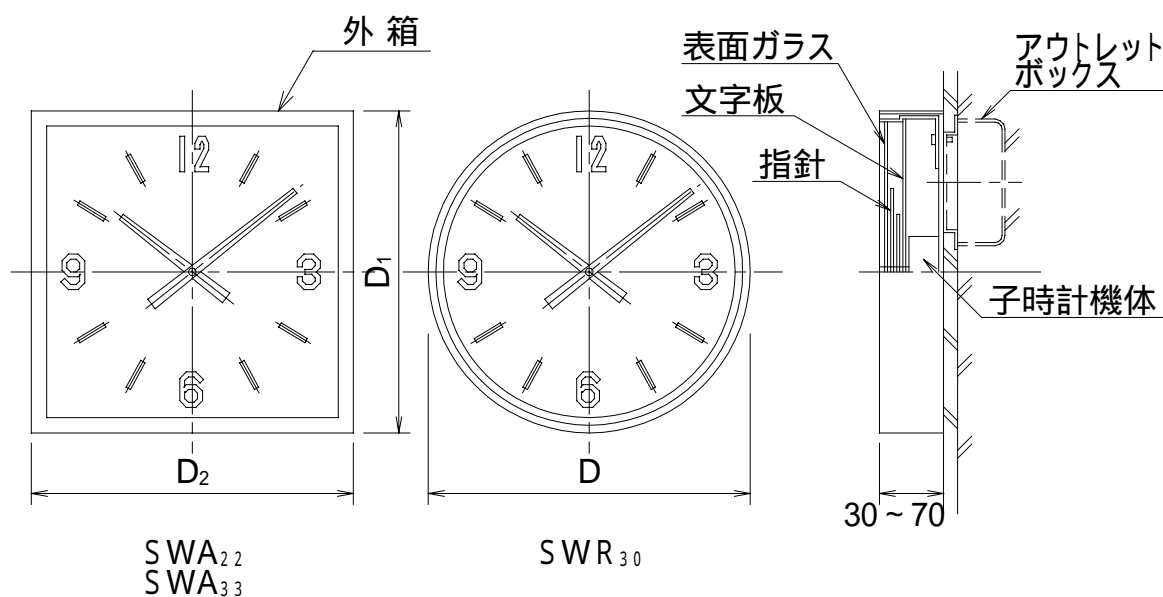
SW A<sub>22</sub> - G<sub>P</sub> ㊟

SW A<sub>33</sub> - G<sub>P</sub> ㊟

SW R<sub>30</sub> - G<sub>P</sub> ㊟

SW R<sub>30</sub> - G<sub>R</sub> ㊟

(単位 mm)

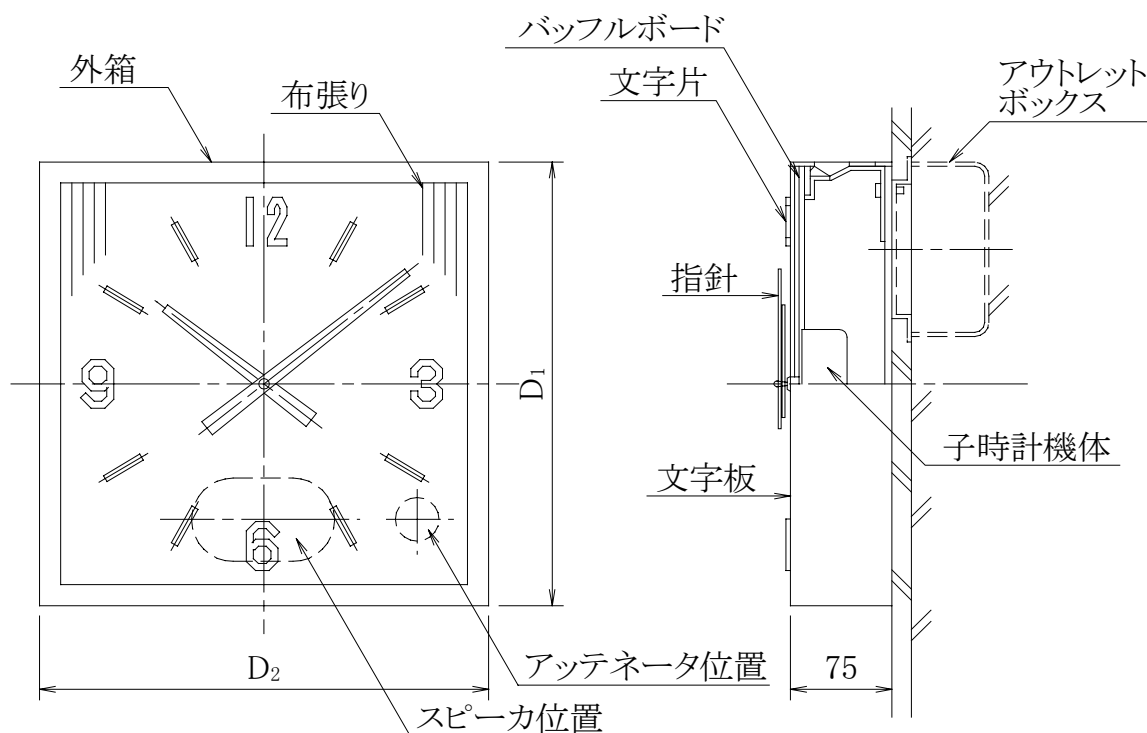


仕 様	
機 構 種 別	ロータ式
外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(黒色)
文 字	印刷文字又は文字片取付
表 面 ガ ラ ス	t2.0

- 備考 (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。  
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。  
 (3) ㊟は、文字形式を示す。

時刻表示4 アナログ子時計(壁掛形2) SWA<sub>33</sub>-NS<sub>PL</sub>⑤

[単位 mm]



仕 様	
機 構 種 別	ロータ式
外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	バッフルボード上、布張り
バッフルボード	木板 t9.0
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(黒色)
文 字	文字片取付、A1P又はBSP 2.0~3.0
ス ピ ー カ	口径150×100スピーカ、アッテネータ付

- 備考 (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。  
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。  
 (3) ⑤は、文字形式を示す。

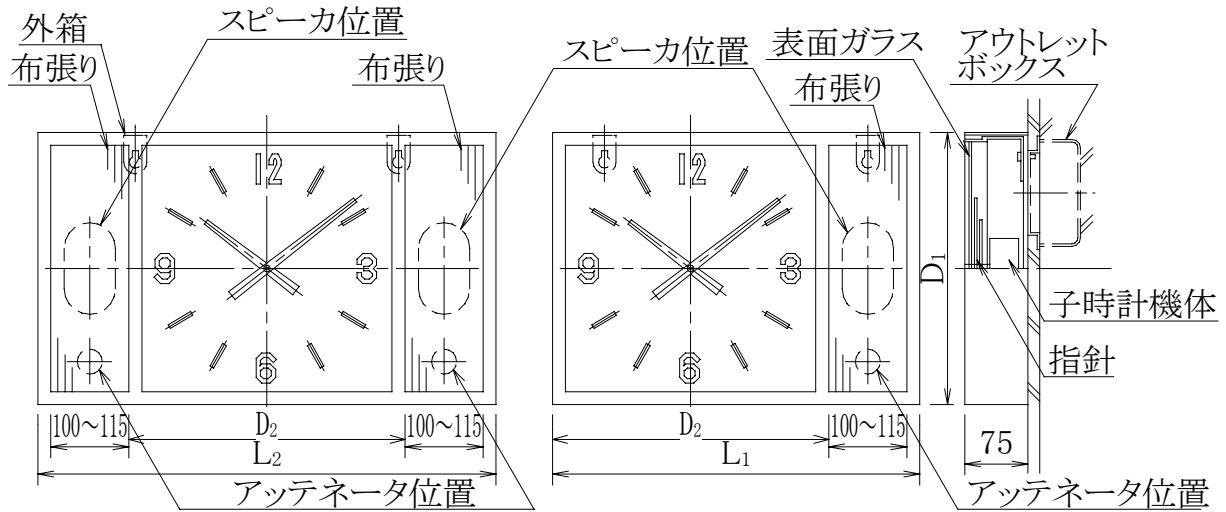
# 時刻表示5 アナログ子時計(壁掛形3)

SWA<sub>33</sub>-G<sub>P</sub>S<sub>PB</sub>⑤

SWA<sub>22</sub>-G<sub>P</sub>S<sub>PS</sub>⑤

SWA<sub>33</sub>-G<sub>P</sub>S<sub>PS</sub>⑤

[単位 mm]



SWA<sub>33</sub>-G<sub>P</sub>S<sub>PB</sub>(両側スピーカ)

SWA<sub>22</sub>-G<sub>P</sub>S<sub>PS</sub>(片側スピーカ)

SWA<sub>33</sub>-G<sub>P</sub>S<sub>PS</sub>(片側スピーカ)

寸法・記号表

記号	寸法	L <sub>2</sub>	L <sub>1</sub>
A <sub>22</sub>		-	370~395
A <sub>33</sub>		530~572	420~450

仕 様

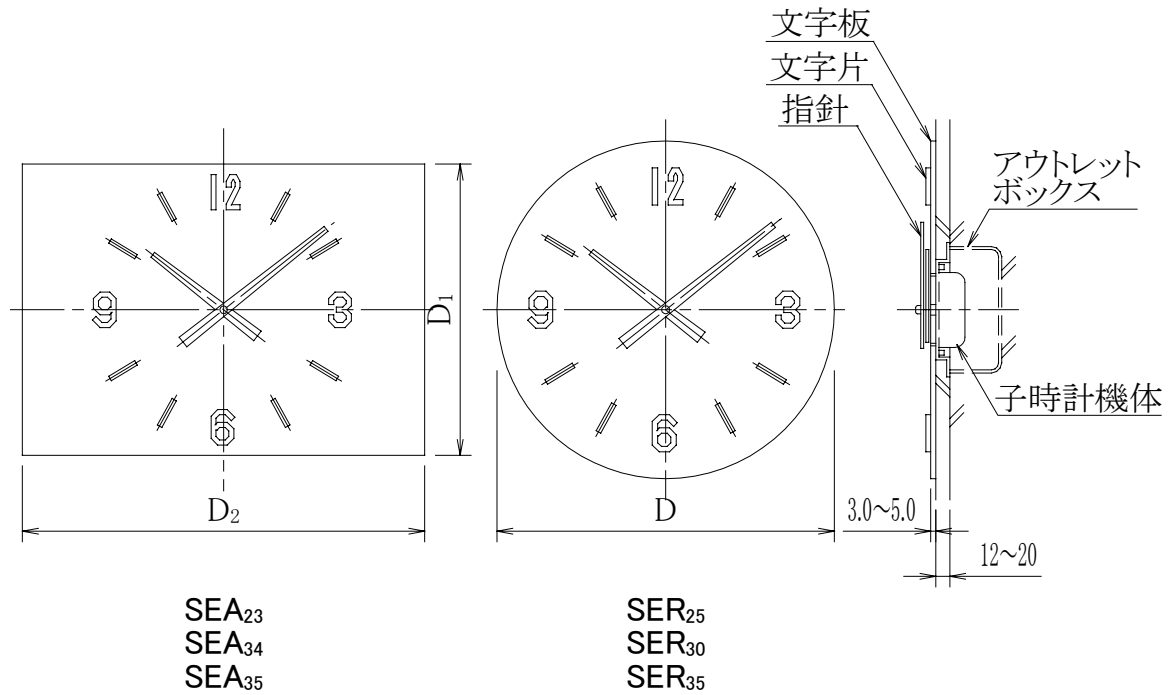
機 構 種 別	ロータ式
外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(黒色)
文 字	印刷文字又は文字片取付
バッフルボード	木板 t9.0
ス ピ ー カ	口径150×100スピーカ×1又は2(アッテネータ付)
表 面 ガ ラ ス	t2.0

- 備考 (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。  
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。  
 (3) ⑤は、文字形式を示す。

# 時刻表示6 アナログ子時計(半埋込形)

- SEA<sub>23</sub> (S)
- SEA<sub>34</sub> (S)
- SEA<sub>35</sub> (S)
- SER<sub>25</sub> (S)
- SER<sub>30</sub> (S)
- SER<sub>35</sub> (S)

[単位 mm]



仕 様	
機 構 種 別	ロータ式
文 字 板	PMMA 3.0~5.0(指定色)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(指定色)
文 字	文字片取付、A1P又はBSP 3.0~5.0(指定色)

- 備考
- (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。
  - (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。
  - (3) (S)は、文字形式を示す。

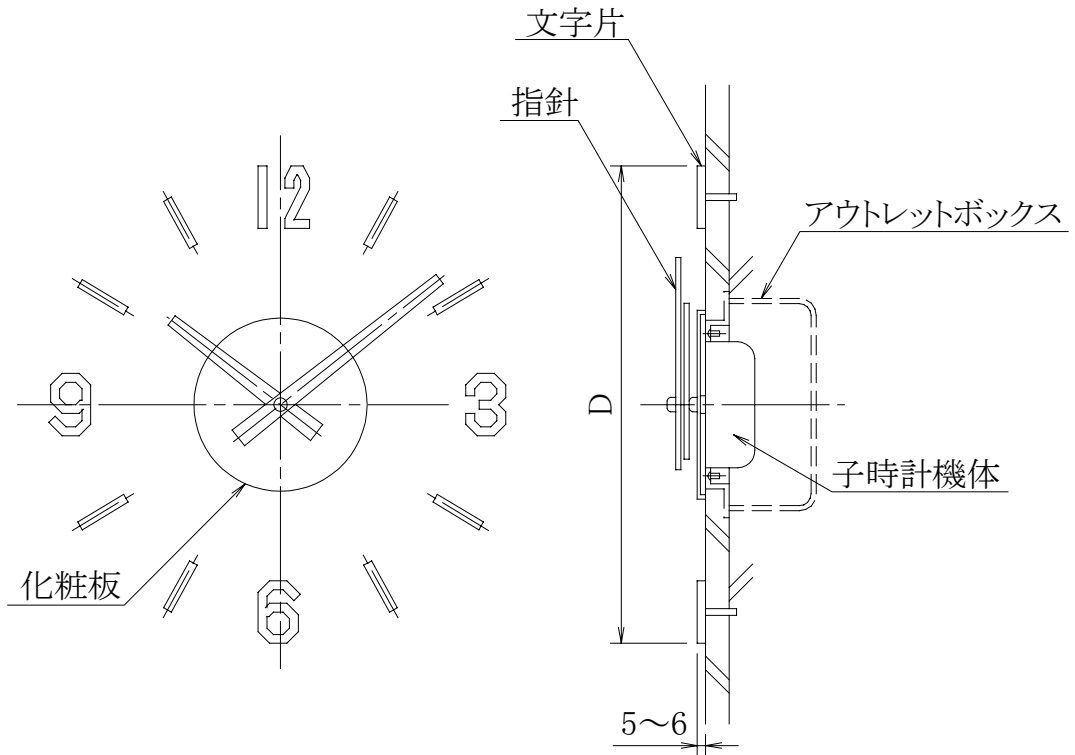
# 時刻表示7 アナログ子時計(埋込形)

SFR<sub>30</sub>-N<sup>⑤</sup>

SFR<sub>35</sub>-N<sup>⑤</sup>

SFR<sub>42</sub>-N<sup>⑤</sup>

[単位 mm]



仕 様	
機 構 種 別	ロータ式
化 粧 板	BSP 0.8(指定めっき)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(指定色)
文 字	文字片取付、A1P又はBSP 5.0~6.0(指定色)

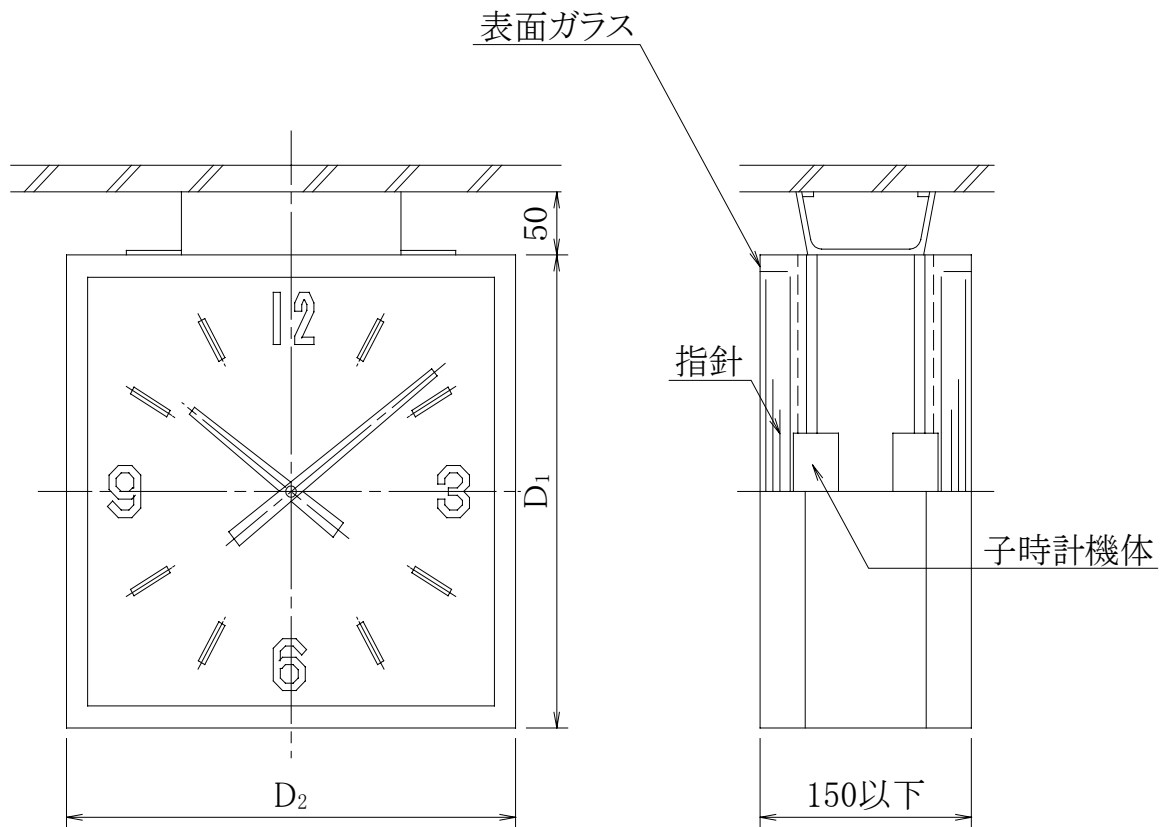
- 備考 (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。  
 (2) アウトレットボックス位置は、一例を示す。  
 (3) ⑤は、文字形式を示す。

時刻表示8

アナログ子時計  
(天井つり下げ形)

ST<sub>WA</sub>33-G<sub>P</sub>⑤  
ST<sub>A</sub>33-G<sub>P</sub>⑤

[単位 mm]

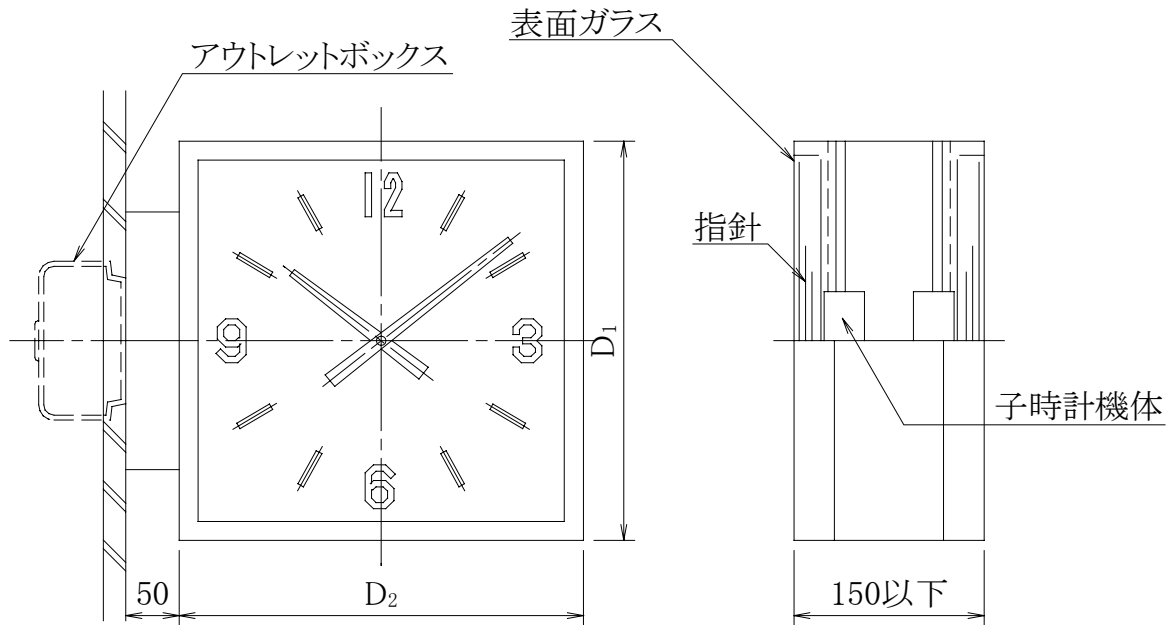


仕 様	
機 構 種 別	ロータ式
外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(黒色)
文 字	印刷文字又は文字片取付
表 面 ガ ラ ス	t2.0

備考 (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。  
(2) ⑤は、文字形式を示す。

時刻表示9 アナログ子時計(サイドブラケット形) SB<sub>w</sub>A<sub>33</sub>-GP<sup>㊟</sup>  
SBA<sub>33</sub>-GP<sup>㊟</sup>

[単位 mm]



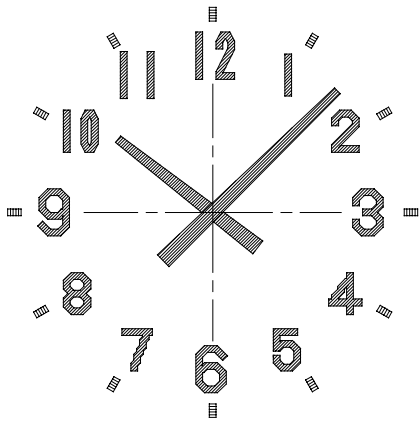
仕 様	
機 構 種 別	ロータ式
外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 針	A1P、SPC 0.3又は黒BSP 0.2(黒色)
文 字	印刷文字又は文字片取付
表 面 ガ ラ ス	t2.0

- 備考 (1) 図は、文字形式のうちJ<sub>1</sub>の場合を示す。  
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。  
 (3) ㊟は、文字形式を示す。

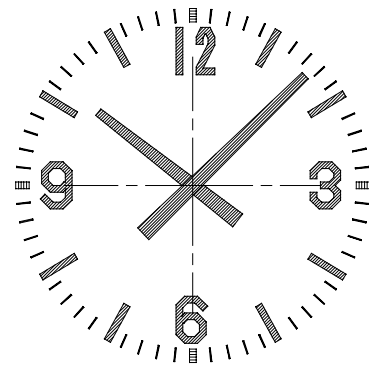


# 時刻表示10 アナログ子時計の文字形式

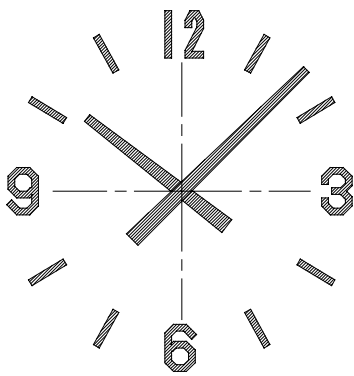
A<sub>2</sub>、B<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>、D<sub>2</sub>  
J<sub>1</sub>、J<sub>2</sub>、L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>



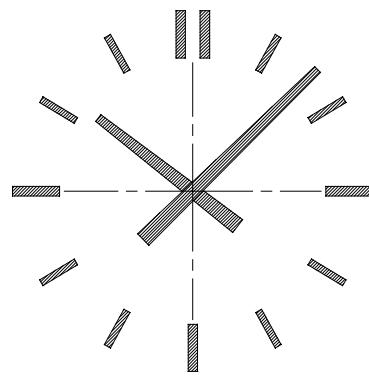
分類記号	A <sub>2</sub>
概要	印刷文字用



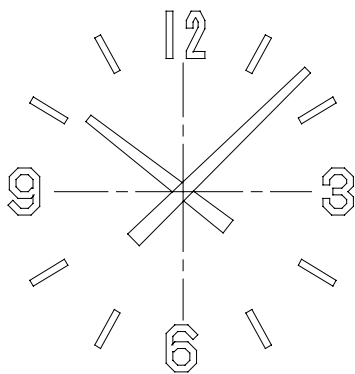
分類記号	B <sub>1</sub>
概要	印刷文字用



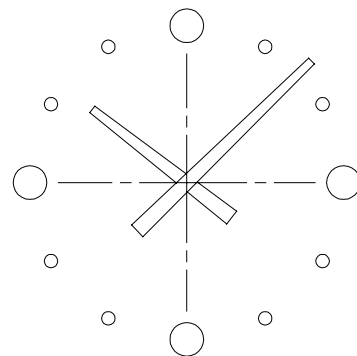
分類記号	B <sub>2</sub>
概要	印刷文字用



分類記号	D <sub>2</sub>
概要	印刷文字用



分類記号	J <sub>1</sub> (取付形状:円)
	J <sub>2</sub> (取付形状:楕円)
概要	文字片取付用



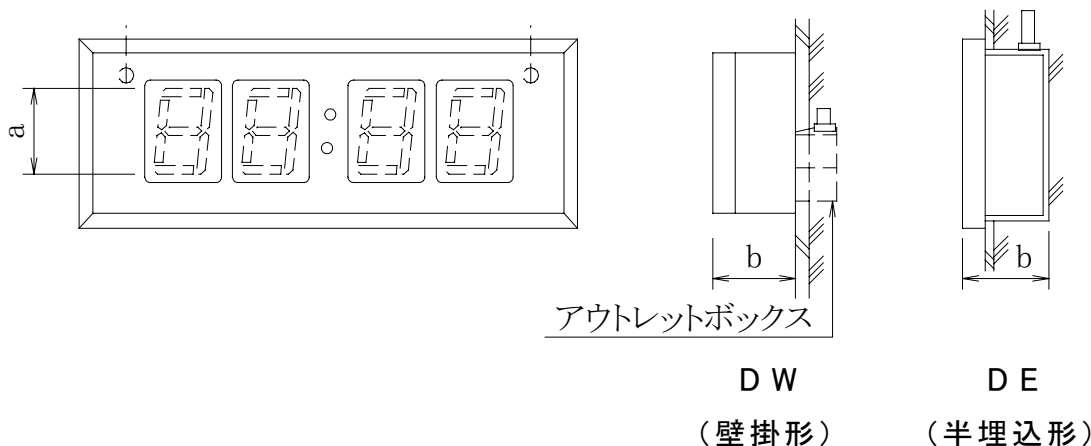
分類記号	L <sub>1</sub> (文字片が円板状のもの)
	L <sub>2</sub> (文字片が球状のもの)
概要	文字片取付用

時刻表示11

デジタル子時計  
(壁掛形・半埋込形)

DWH<sub>08</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DWH<sub>10</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DWH<sub>12</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DWH<sub>20</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DEH<sub>08</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DEH<sub>10</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DEH<sub>12</sub>-LD<sub>1</sub>  
 DEH<sub>20</sub>-LD<sub>1</sub>

[単位 mm]



形 式	a(文字高)	b	内部蛍光灯
H <sub>08</sub>	80	115以下	10形×1
H <sub>10</sub>	100		15形×1
H <sub>12</sub>	120		20形×1
H <sub>20</sub>	200	135以下	30形×2

仕 様		
外 箱	箱	SPC 0.6(指定色)
表 面	面	透明ガラス又はアクリル
表 示	示	液晶式(透過形) 文字白抜
時 制	制	12又は24時制(内部切換可能)
蛍 光 灯	灯	AC100V

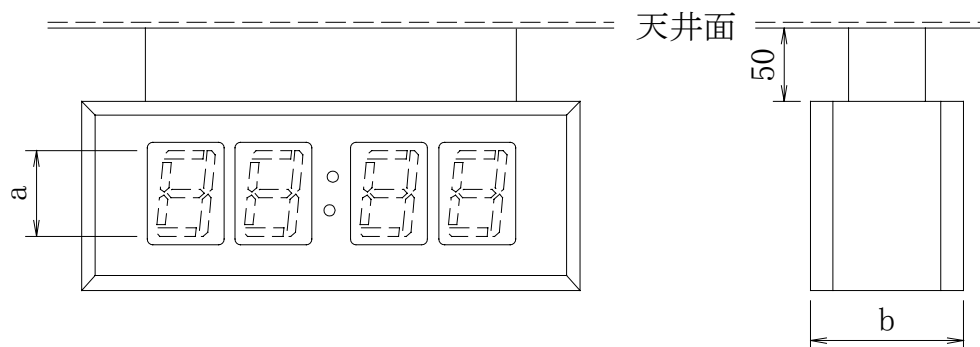
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。  
 (3) 蛍光灯の形、本数は参考とする。

時刻表示12

デジタル子時計  
(天井つり下げ形)

DTwH<sub>08</sub>-LD<sub>1</sub>  
DTwH<sub>10</sub>-LD<sub>1</sub>  
DTwH<sub>12</sub>-LD<sub>1</sub>  
DTwH<sub>20</sub>-LD<sub>1</sub>

[単位 mm]



形 式	a(文字高)	b	内部蛍光灯
H <sub>08</sub>	80	200以下	10形×2
H <sub>10</sub>	100	220以下	15形×2
H <sub>12</sub>	120		20形×2
H <sub>20</sub>	200	250以下	30形×2

仕 様	
外 箱	SPC 0.6(指定色)
表 面	透明ガラス又はアクリル
表 示	液晶式(透過形) 文字白抜
時 制	12又は24時制(内部切換可能)
蛍 光 灯	AC100V

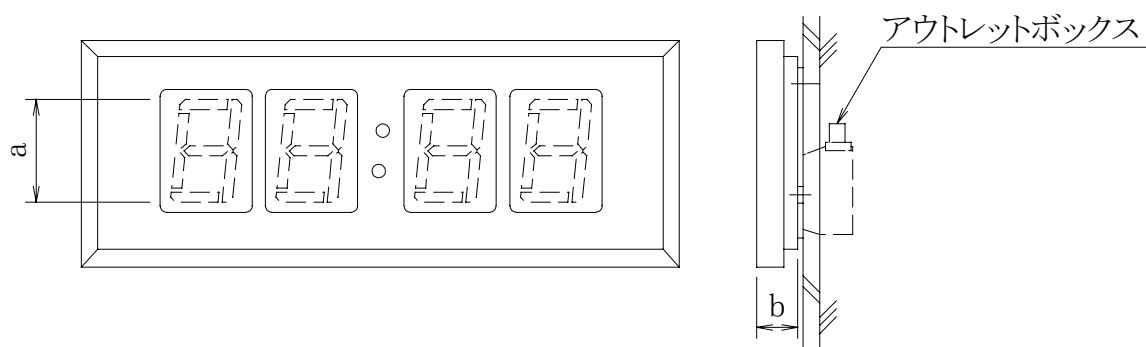
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
(2) 蛍光灯の形及び本数は、参考とする。

## 時刻表示13

## デジタル子時計(壁掛形)

DWH<sub>08</sub>-LD<sub>2</sub>DWH<sub>10</sub>-LD<sub>2</sub>DWH<sub>12</sub>-LD<sub>2</sub>DWH<sub>20</sub>-LD<sub>2</sub>

〔単位 mm〕



形 式	a(文字高)	b
H <sub>08</sub>	80	45以下
H <sub>10</sub>	100	
H <sub>12</sub>	120	
H <sub>20</sub>	200	60以下

仕 様	
外 箱	SPC 0.6(指定色)
表 面	透明ガラス又はアクリル
表 示	液晶式(反射形) 文字黒色
時 制	12又は24時制(内部切換可能)

備考 (1) 形状は、一例を示す。

(2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。

## 映像・音響1 プロジェクタ及びスクリーンの記号

### (1) プロジェクタの記号

分類 種類	表 示 内 容	
	記 号	
	P	プロジェクタ
投写方式	F1	前面投写式 天井つり下げ形
	F2	前面投写式 床置形
	B1	背面投写式 反射透過形
	B2	背面投写式 キャビネット形
	B3	背面投写式 キャビネット組合せ形
	B4	背面投写式 直射透過形
明るさ	I	標準仕様書で定める性能のもの (投写方式がF1、F2、B1、B4の場合に記載)
	II	
	III	
解像度	A	標準仕様書で定める性能のもの
	B	
	C	
コントラスト	X	標準仕様書で定める性能のもの
	Y	

### (2) スクリーンの記号

分類	表 示 内 容	
	記 号	
形 式	S1	反射マット形
	S2	反射ビーズ形
	S3	反射ストライプ形
	S4	透過形
収納方式	W	壁固定式
	E	電動巻上式
	S	ばね巻上式
	F	床収納式

備考 背面投写式の収納方式は、壁固定式とする。

### (3) スクリーンサイズ

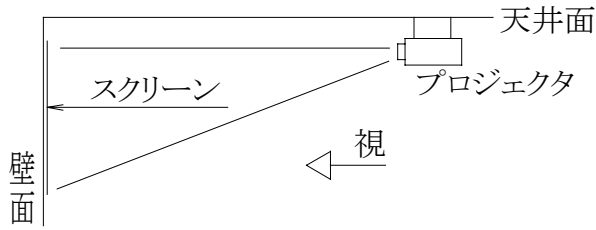
記 号	スクリーン概略寸法	
60	1,524 mm	( 60インチ)
70	1,778 mm	( 70インチ)
80	2,032 mm	( 80インチ)
90	2,286 mm	( 90インチ)
100	2,540 mm	(100インチ)
110	2,794 mm	(110インチ)
120	3,048 mm	(120インチ)
130	3,302 mm	(130インチ)
140	3,556 mm	(140インチ)
150	3,810 mm	(150インチ)
160	4,064 mm	(160インチ)
170	4,318 mm	(170インチ)
180	4,572 mm	(180インチ)
190	4,826 mm	(190インチ)
200	5,080 mm	(200インチ)

備考 (1) キャビネット組合せ形のサイズは、適用しない。  
 (2) 概略寸法は、画面对角線上での寸法を示す。  
 なお、標準形(縦横比3:4)以外を使用する場合のスクリーン形状は、特記による。

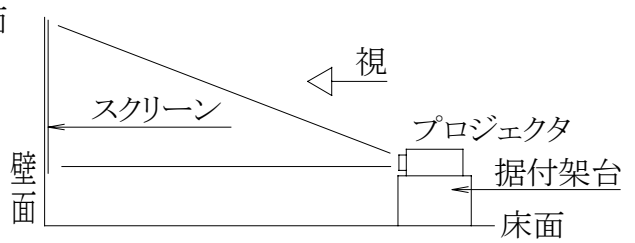
## (4) 表示例

	記号	説明
例1	PF1 IA-S1E-100	前面投写式天井つり下げ形のプロジェクトで、電動巻上反射マット形100インチのスクリーンプロジェクトの明るさは、標準仕様書によるI形プロジェクトの解像度は、標準仕様書によるA形
例2	PB1 IIB-S4W-120	背面投写式透過形のプロジェクトで壁固定式透過形120インチのスクリーン プロジェクトの明るさは、標準仕様書によるII形プロジェクトの解像度は、標準仕様書によるB形
例3	PB2C-S4-80	背面投写式キャビネット形のプロジェクトで透過形80インチのスクリーン プロジェクトの解像度は、標準仕様書によるC形

前面投写式

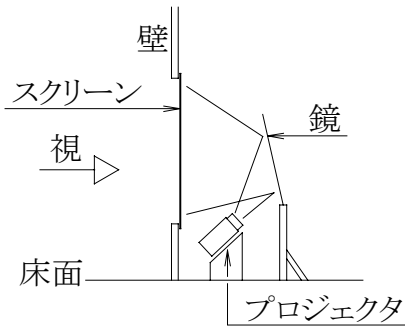


天井つり下げ形(F1)

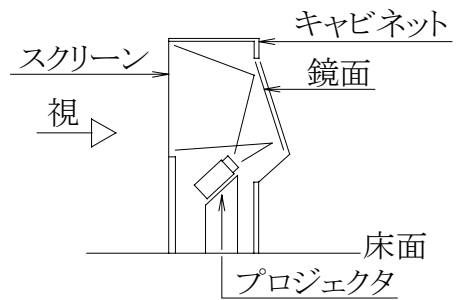


床置形(F2)

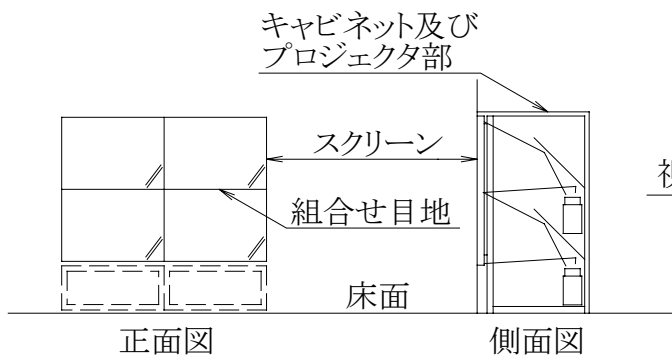
背面投写式



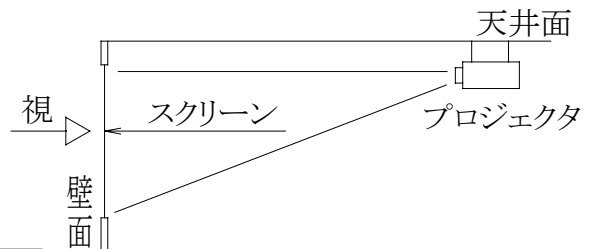
反射透過形(B1)



キャビネット形(B2)



キャビネット組合せ形 (B3)



直射透過形(B4)

備考 図は、一例を示す。

# 拡声1

# スピーカの記号及び表示例

## (1) 記号

分類	表示内容				
	記号	内容			
名称	S	スピーカ			
形式	-	スピーカ取付形式	キャビネット	キャビネット材質	バッフル面又は化粧パネル材質
	W <sub>1</sub>	壁掛形	有	合成樹脂製	合成樹脂製
	W <sub>2</sub>			木製	布張り
	W <sub>3</sub>	壁掛両面形			
	P	天井つり下げ両面形			
	C <sub>1</sub>	天井埋込形	木製、金属製又は合成樹脂製	合成樹脂製	
	C <sub>2</sub>			布張り	
	C <sub>3</sub>		金属製		
	C <sub>4</sub>		無(防じん袋入又は防じんカバー)	合成樹脂製	
	C <sub>5</sub>		—	布張り	
	C <sub>6</sub>		—	金属製	
H	ホーンスピーカ				
性能*1	H <sub>i</sub>	標準仕様書で定める性能のもの			
	L <sub>0</sub>				
定格入力	Ⓜ	ⓂW以上のもの			
アッテネータ*1	V <sub>0</sub>	アッテネータを内蔵しないもの			
	V <sub>2</sub>	2線式アッテネータを内蔵するもの			
	V <sub>3</sub>	3線式アッテネータを内蔵するもの			
化粧パネルの形状*1*2	K	角形			
	M	丸形			

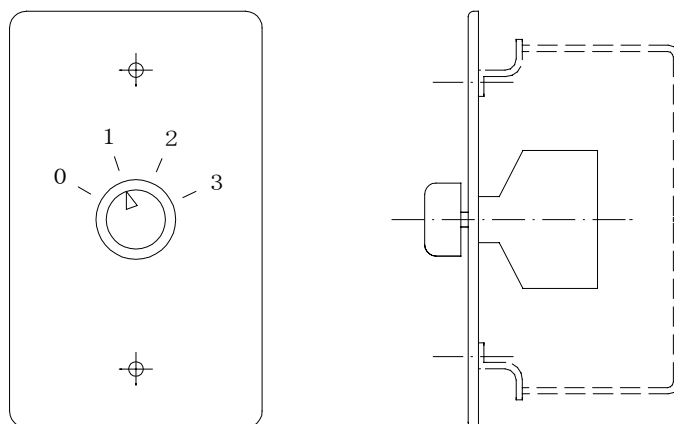
備考 W<sub>3</sub>、Pは、スピーカを2個内蔵するものとし、定格入力は合計の定格入力を示す。

- 注 \*1 ホーンスピーカには適用しない。  
\*2 天井埋込形のスピーカのみに適用する。

## (2) 表示例

	記号	説明
例1	SW <sub>2</sub> H <sub>i</sub> -3V <sub>0</sub>	壁掛形木製キャビネット、バッフル面布張りで性能H <sub>i</sub> 形、定格入力3W以上、アッテネータを内蔵しないスピーカ
例2	SC <sub>4</sub> H <sub>i</sub> -1V <sub>3</sub> -K	天井埋込形防じん袋入で化粧パネルが角形合成樹脂製、性能H <sub>i</sub> 形、定格入力1W以上、3線式アッテネータを内蔵するスピーカ
例3	SH-10	定格入力10W以上のホーンスピーカ





アッテネータの形式

(1) 記号

分類	表示	
	記号	内容
名称	V	3線式アッテネータ
定格容量	Ⓝ	Ⓝ W以上のもの
プレートの種類	S	金属製
	P	合成樹脂製

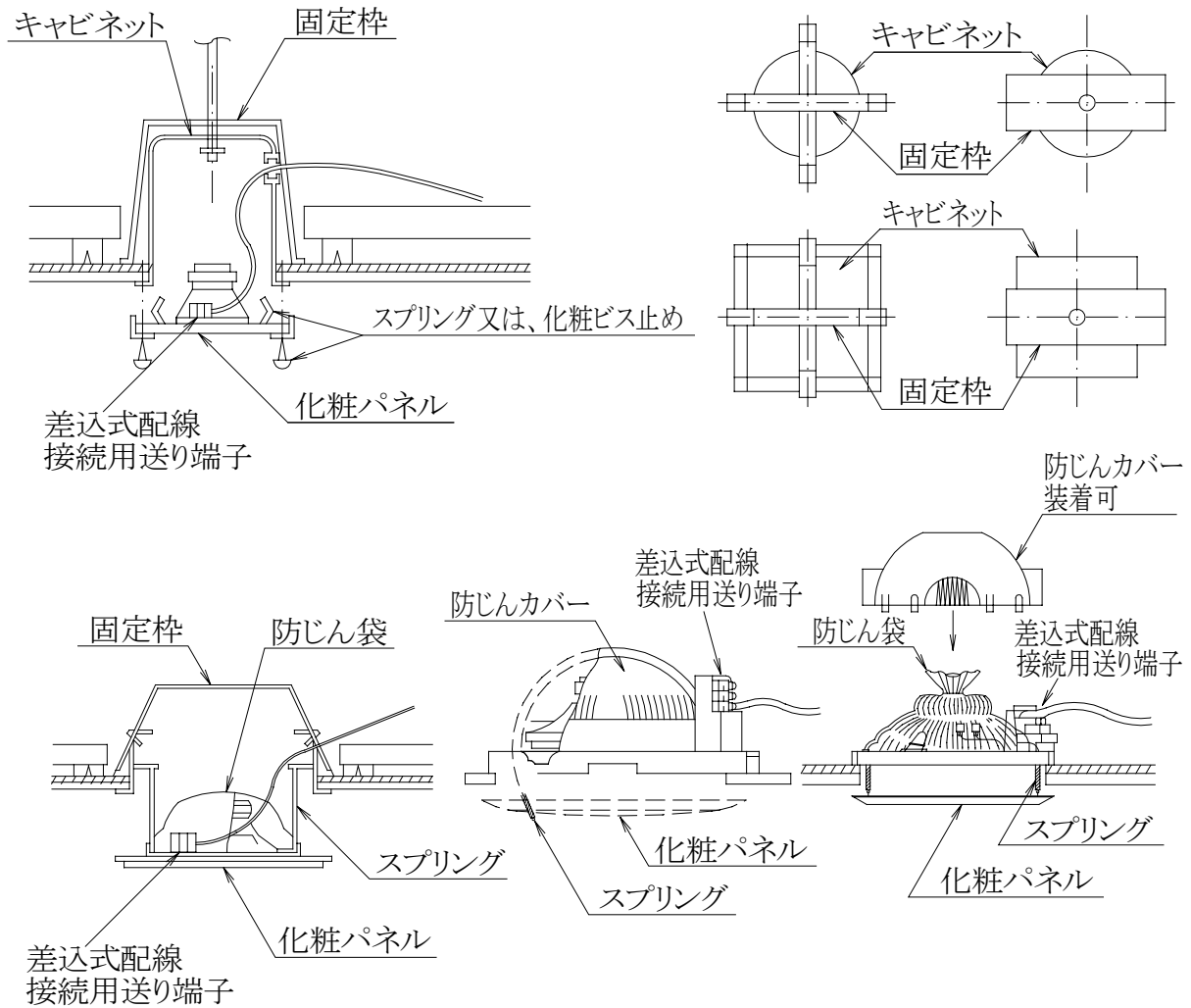
- 備考 (1) 図は、一例を示す。  
 (2) 3段以上の切替式調節つまみを設ける。  
 (3) 調節目盛付とし、調節目盛は、プレート又はつまみに設ける。

(2) 表示例

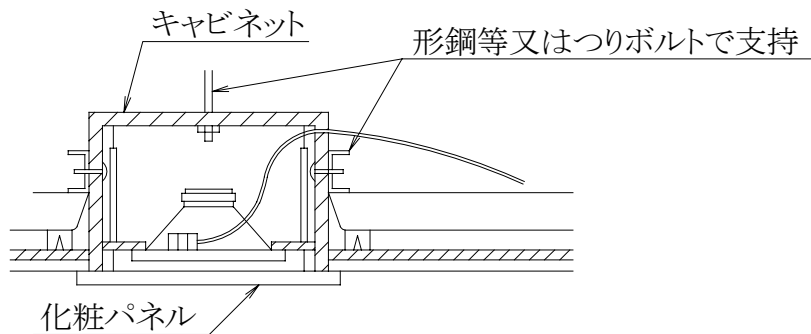
	記号	説明
例1	V-1S	定格容量1W以上、金属製プレートの3線式アッテネータ
例2	V-3P	定格容量3W以上、合成樹脂製プレートの3線式アッテネータ

### 拡声3

### 天井埋込形スピーカの取付例



#### 軽量形の場合(3kg以下)



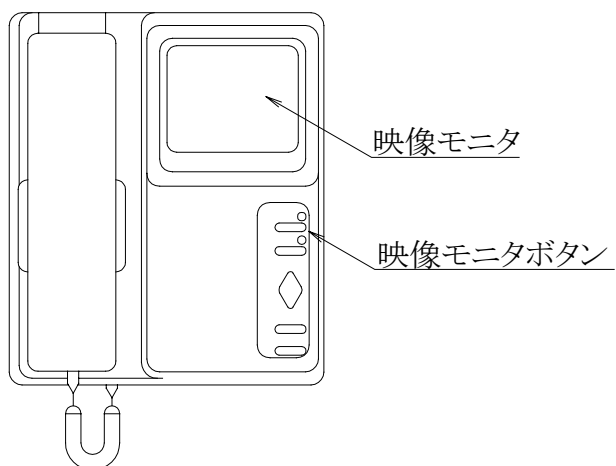
#### 軽量形以外の場合(3kg超過)

備考 スピーカの質量が1.5kgを超えるものは、チェーン、ワイヤ等により脱落防止処置を施す。

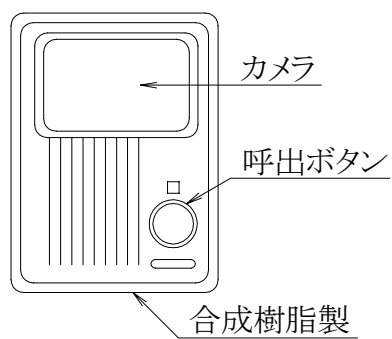
## 誘導支援1

## テレビインターホン

### (1) 親機

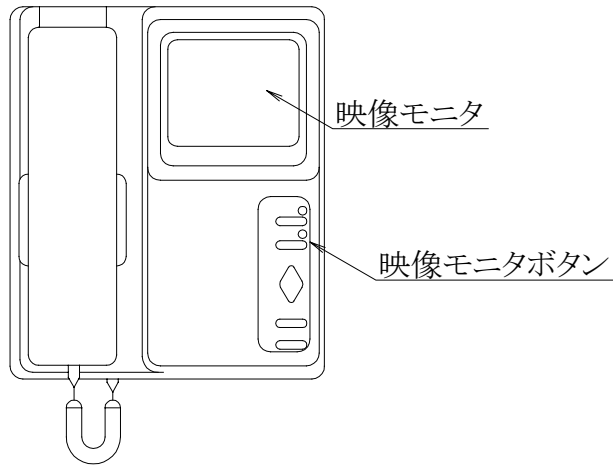


### (2) 子機

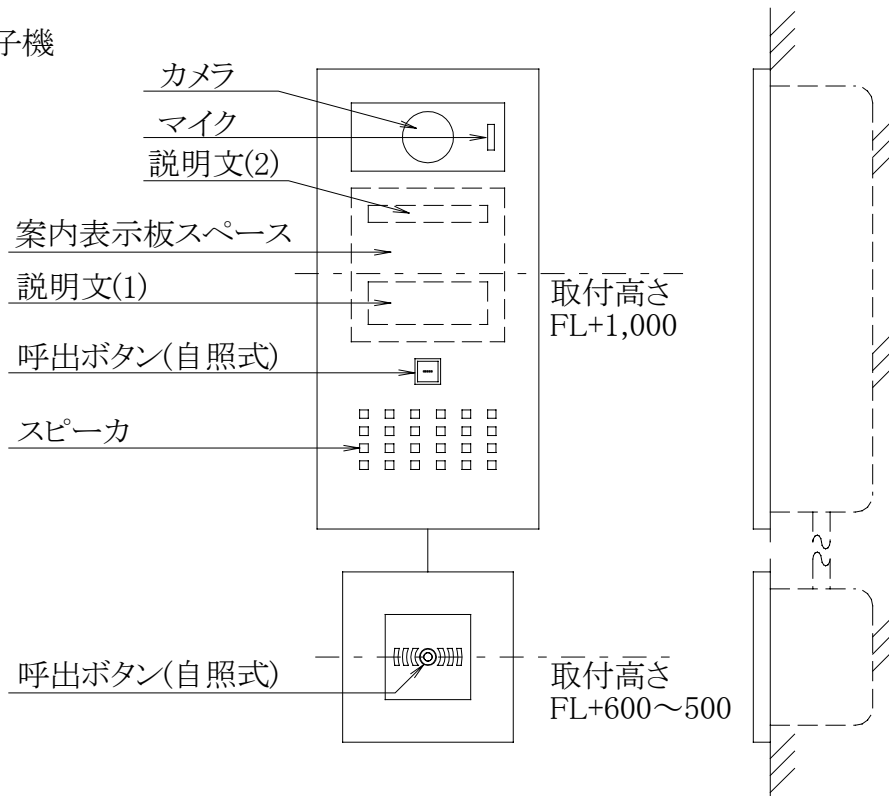


- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
(2) 子機は、防雨形とする。

(1) 親機

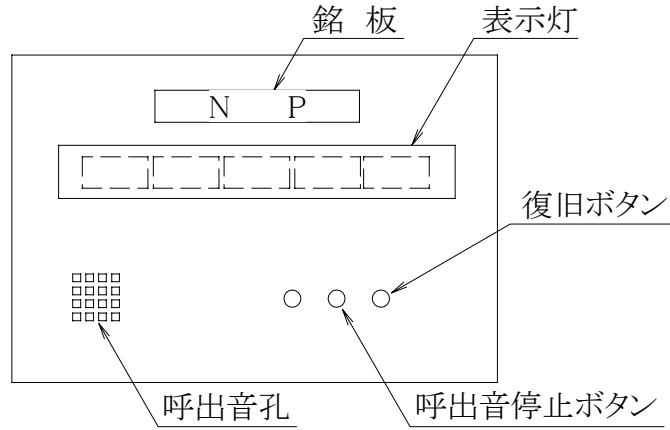


(2) 子機

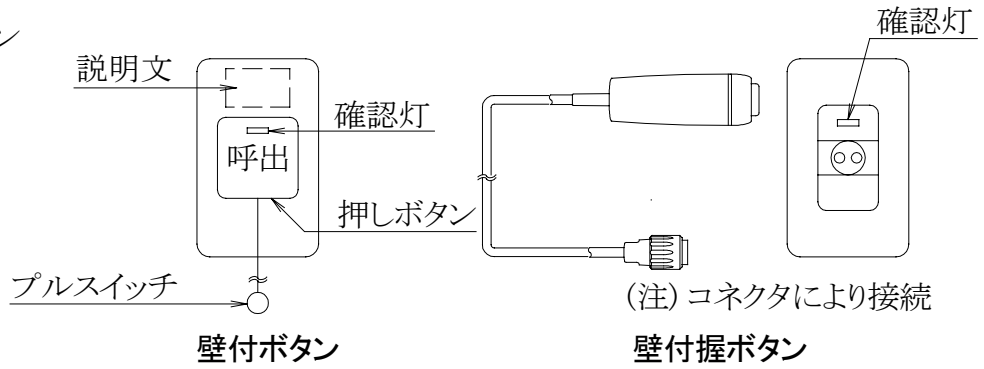


- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
 (2) 子機は、防雨形とする。  
 (3) 子機の破線部分は、取扱い説明文等の記載位置を示す。  
 また、説明文以外に点字も記載する。  
 説明文(1)の例・・・「御用の方は、ボタンを押してからお話しください。」  
 説明文(2)の例・・・「インターホン」  
 (4) 図は、子機の呼出確認表示灯と呼出ボタンを兼用した場合を示す。

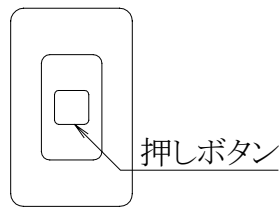
(1) トイレ等呼出表示器



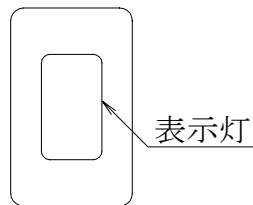
(2) 呼出ボタン



(3) 復帰ボタン



(4) 呼出表示灯



- 備考 (1) 形状は、一例を示す。  
 (2) 呼出ボタンの破線部分は、用途等を点字にて記載する。  
 (説明文の例・・・「呼出ボタン」)  
 (3) 呼出ボタンのプルスイッチ及び握ボタンの長さは特記による。

テレビ共同受信1

アンテナ(仕様)

形 式	U・V・BS別	部 品	材 料		適 合 規 格
AV-1	VHF	アーム	耐食アルミ		JIS H 4080に規定する A 6063 TD
		素 子	アルミニウム		JIS H 4080に規定する A 1050 TD
AU-1	UHF	アーム	耐食アルミ		JIS H 4080に規定する A 6063 TD
		素 子	アルミニウム		JIS H 4080に規定する A 1050 TD
AV-2	VHF	アーム	ステンレス		JIS G 3459に規定する SUS 304 TP 又は JIS G 3446に規定する SUS 304 TKA/TKC
		素 子			
AU-2	UHF	アーム	ステンレス		JIS G 3459に規定する SUS 304 TP 又は JIS G 3446に規定する SUS 304 TKA/TKC
		素 子	放射器	ステンレス	
			その他		
CSBSA-60 CSBSA-75 CSBSA-90 (100)	BS ・ 110° CS	反射板	FRP(繊維強化プラスチック)、 アルミニウム又は鋼板		鉄部は、すべてJIS H 8641に規定する2種、 又は同等以上の防錆 処理とする。
		コンバータ、 支持機構、方 向調整機構	ステンレス、アルミニウム 又は鉄		
CSA-75 CSA-90 (100)	CS	反射板	FRP(繊維強化プラスチック)、 アルミニウム又は鋼板		
		コンバータ、 支持機構、方 向調整機構	ステンレス、アルミニウム 又は鉄		

## テレビ共同受信2 アンテナ(種類及び電気的特性)

### VHFアンテナ(AV)の種類及び電気的特性

種類	帯域	素子数	チャンネル	周波数帯域 [MHz]	動作利得 [dB]	電圧 定在波比	半値幅 [度]	前後比 [dB]
全帯域用	12	テレビローチャンネル(1~3)	90~108	4.0以上	3.0以下	70以下	9以上	
		テレビハイチャンネル(4~12)	170~222	7.0以上		60以下	12以上	
広帯域用	5	FMテレビローチャンネル (FM、1~3)	76~90	4.0以上	2.5以下	75以下	7以上	
			90~108	5.0以上		70以下	15以上	
専用帯域用	8	テレビハイチャンネル(4~12)	170~222	7.0以上	2.0以下	60以下	18以上	
			76~90	4.5以上		70以下	9以上	
	5	FM	90~108の間で特定 のチャンネル	6.5以上	2.0以下	65以下	10以上	
			170~222の間で特定 のチャンネル	8.5以上		55以下	12以上	

備考 ( )内は、チャンネルを示す。

### UHFアンテナ(AU)の種類及び電気的特性

種類	帯域	素子数	チャンネル	周波数帯域 [MHz]	動作利得 [dB]	電圧 定在波比	半値幅 [度]	前後比 [dB]
低域用	中域用	高域用	20以上	13~30	470~578	8.0以上	50以下	15以上
				31~44	578~662	9.0以上		
全帯域用			20以上	13~62	470~578	6.5以上	2.5以下	55以下
					578~662	8.5以上		
					662~770	9.0以上		
					662~770	9.0以上		

### BS・110° CSアンテナの種類及び電気的特性

性能 形式	周波数 [GHz]	アンテナ利得 [dBi]	電圧定在波比	受信偏波	性能指数G/T比 [dB/k]
CSBSA-60	11.70~12.75	35.9以上	1.3以下	右旋円偏波	13以上
CSBSA-75		37.4以上			14.1以上
CSBSA-90 (100)		39.0(39.9) 以上			15.7(16.6) 以上

### CSアンテナの種類及び電気的特性

性能 形式	周波数 [GHz]	アンテナ利得 [dBi]	電圧定在波比	受信偏波	性能指数G/T比 [dB/k]
CSA-75	12.20~12.75	37.8以上	1.3以下	直線偏波	15.5以上
CSA-90 (100)		39.4(40.3) 以上			17.3(18.0) 以上

増幅器の種類及び電気的特性

項目 形式	周波数帯域 [MHz]	利得 [dB]	利得調整範囲 [dB]	定格出力 [dBμ]	帯域内周波数特性 [dB]	
CS・BS -1	BS-IF CS-IF	1,000～ 2,150	35/40以上	10以上	100/105 (24波)	任意の34.5MHzで±1.0以 内、全帯域で±2.5以内*2
CS・BS・ UV-1	VHF(Lo)	76～108	30以上	10以上 連続可変	105(2波)	任意の6MHzで±1.0以内 及び1～3、4～12chで ±2.0以内
	(Hi)	170～222	35以上		110(5波)	
	UHF	470～770	40以上		115*1	任意の6MHzで±1.0以内 及び任意の100MHzで ±2.0以内
	BS-IF CS-IF	1,000～ 2,150	35/40以上		100/105 (24波)	任意の34.5MHzで±1.0以 内、全帯域で±2.5以内*2
CS・BS・ UV-1W	VHF(Lo)	76～108	30以上	10以上 連続可変	105(2波)	任意の6MHzで±1.0以内 及び1～3、4～12chで ±2.0以内
	(Hi)	170～222	35以上		110(5波)	
	UHF	470～770	35以上		108*1	任意の6MHzで±1.0以内 及び任意の100MHzで ±2.0以内
	BS-IF CS-IF	1,000～ 2,602	30/40以上		95/105 (BS12波・CS24波)	任意の34.5MHzで±1.0以 内、全帯域で±2.5以内*2
CATV -1	CATV	10～55	30以上	10以上 連続可変	105(2波)	全帯域で±1.0以内
		70～770	38以上		107(74波)	全帯域で±2.0以内
CATV・ CS・BS -1	CATV	10～55	30以上	10以上	105(2波)	全帯域で±1.0以内
		70～770	38以上		107(74波)	全帯域で±2.0以内
BS-IF CS-IF	1,000～ 2,150	35/40以上	100/105 (24波)		任意の34.5MHzで±1.0以 内、全帯域で±2.5以内*2	
			110(2波)		全帯域で±1.0以内	
CATV・ CS・BS -2W	CATV	10～55	30以上	107(74波)	全帯域で±2.0以内	
		70～770	38以上	103/113 (BS12波・CS24波)	任意の34.5MHzで±1.0以 内、全帯域で±2.5以内*2	
	BS-IF CS-IF	1,000～ 2,602	30/40以上			

注 \*1 アナログ7波とデジタル9波伝送時の値とする。ただしデジタル9波は、  
-10dB運用とする。  
\*2 チルト調整機能(固定又は連続)を有すること。



## テレビ共同受信4 混合(分波)器、分岐器、分配器

品名 分類	混合(分波)器			分岐器	
				1分岐	2分岐
記号	M-UV-7 MC-UV-7	CS-M CS-MC	CS-VHMC	CS-C1W	CS-C2W
回路図					
シンボル					
品名 分類	分岐器	分配器			
	4分岐	2分配	4分配	6分配	8分配
記号	CS-C4W	CS-D2W	CS-D4W	CS-D6W	CS-D8W
回路図					
シンボル					

備考 M-UV-7、CS-Mは、屋内形とし、MC-UV-7、CS-MC、CS-VHMCは、屋外形とする。

### 混合(分波)器の電気的特性

形式 項目	M-UV-7 MC-UV-7		CS-M CS-MC		CS-VHMC	
周波数帯域 [MHz]	76~222	470~770	10~770	1,000~ 2,150	1,000~ 1,533	1,590~ 2,072
通過帯域減衰量 [dB]	1.0以下	1.5以下	1.3以下	2.5以下	3.0以下	3.0以下
阻止帯域減衰量 [dB]	25以上	25以上	20以上	18以上	15以上	15以上
電圧定在波比	1.5以下	1.8以下	1.6以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下

分岐器の電気的特性

形式 項目	1 分岐器					
	CS-C1W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
挿入損失 [dB]	1.6以下	1.3以下	1.5以下	2.0以下	3.0以下	4.0以下
結合損失 [dB]	12以下	11以下	12以下	13以下	14以下	14.5以下
逆結合損失 [dB]	15以上	25以上	20以上	18以上	16以上	16以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	2 分岐器					
	CS-C2W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
挿入損失 [dB]	2.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.5以下	6.0以下
結合損失 [dB]	12以下	11以下	12以下	13以下	14以下	15以下
逆結合損失 [dB]	15以上	25以上	20以上	18以上	16以上	16以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	4 分岐器					
	CS-C4W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
挿入損失 [dB]	4.5以下	3.5以下	4.5以下	5.5以下	6.0以下	6.5以下
結合損失 [dB]	12以下	11以下	12以下	13以下	15以下	16.5以下
逆結合損失 [dB]	15以上	25以上	20以上	18以上	16以上	16以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下

分配器の電気的特性

項目 \ 形式	2 分配器					
	CS-D2W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
分配損失 [dB]	4.0以下	3.8以下	4.0以下	4.5以下	5.5以下	6.5以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.0以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
項目 \ 形式	4 分配器					
	CS-D4W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
分配損失 [dB]	8.0以下	7.5以下	8.0以下	9.0以下	10.5以下	11.5以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
項目 \ 形式	6 分配器					
	CS-D6W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
分配損失 [dB]	11.0以下	10.0以下	11.0以下	12.0以下	14.0以下	16.0以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
項目 \ 形式	8 分配器					
	CS-D8W					
周波数帯域 [MHz]	10～ 76	76～ 300	300～ 770	1,000～ 1,336	1,336～ 2,150	2,150～ 2,602
分配損失 [dB]	12.5以下	12.0以下	12.5以下	13.5以下	17.0以下	18.5以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.8以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下	2.5以下

テレビ共同受信7

テレビ端子1

品名	テレビ端子1端子形		テレビ端子2端子形	
記号	CS-7FW	CS-7FSW	CS-77FW	CS-77FSW
回路図				
シンボル				

備考 (1) 記号及びシンボルの傍記Wは、2,602MHz用とする。  
 (2) 記号及びシンボルの傍記Sは、上り信号カット機能付とする。

テレビ端子1端子形の電気的特性

項目	CS-7FW(2,602MHz対応)											
	10~76		76~300		300~770		1,000~1,336		1,336~2,150		2,150~2,602	
周波数帯域 [MHz]	10~76		76~300		300~770		1,000~1,336		1,336~2,150		2,150~2,602	
挿入損失 [dB](以下)	0.8		0.4		0.6		0.8		1.5		2.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5		1.6		1.6		1.8		2.0		2.0	
項目	CS-7FSW(上り信号カット機能付)(2,602MHz対応)											
	10~55		70~300		300~770		1,000~1,336		1,336~2,150		2,150~2,602	
周波数帯域 [MHz]	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向
挿入損失 [dB](以下)	1.0	40以上	1.0	3.0	1.0	2.0	1.5	2.5	2.0	3.0	4.0	5.0
電圧定在波比 (以下)	2.0	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5

テレビ端子2端子形の電気的特性

項目 \ 形式		CS-77FW(2,602MHz対応)											
周波数帯域 [MHz]		10~76	76~300	300~770	1,000~1,336	1,336~2,150	2,150~2,602						
挿入損失 [dB](以下)		5.0	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0						
端子間結合損失 [dB](以上)		13	20	18	15	15	15						
電圧定在波比 (以下)		2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0						
項目 \ 形式		CS-77FSW(上り信号カット機能付)(2,602MHz対応)											
周波数帯域 [MHz]		10~55		70~300		300~770		1,000~1,336		1,336~2,150		2,150~2,602	
		双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向
挿入損失 [dB](以下)		5.0	40以上	5.0	7.0	6.0	7.0	7.0	8.0	8.0	9.0	9.5	10
端子間結合損失 [dB](以上)		13	13	20	20	18	18	15	15	15	15	15	15
電圧定在波比 (以下)		2.0	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5

品名	直列ユニット1端子形			
記号	CS-7F-7	CS-7F-7W	CS-7F-R	CS-7F-RW
回路図				
シンボル				
品名	直列ユニット2端子形			
記号	CS-77F-7	CS-77F-7W	CS-77F-R	CS-77F-RW
回路図				
シンボル				

備考 (1) 記号及びシンボルの傍記Rは、終端抵抗器付を示す。  
 (2) 記号及びシンボルの傍記Wは、2,602MHz用とする。

直列ユニット1端子形の電気的特性

項目	CS-7F-7(中間用)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	
挿入損失 [dB](以下)	1.8	1.3	1.8	2.0	3.4	
結合損失 [dB](以下)	12.0	11.0	12.0	13.0	15.0	
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	25.0	20.0	18.0	15.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	

項目	CS-7F-7W(中間用)(2,602MHz対応)						
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602	
挿入損失 [dB](以下)	2.0	1.8	2.0	3.8	4.2	5.5	
結合損失 [dB](以下)	12.0	12.0	12.5	13.0	15.0	16.0	
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	23.0	20.0	18.0	15.0	15.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	

項目	CS-7F-R(端末用)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150
結合損失 [dB](以下)	9.0	8.5	9.0	10.0	11.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0

項目	CS-7F-RW(端末用)(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
結合損失 [dB](以下)	10.0	9.5	10.0	11.0	12.5	13.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0

直列ユニット2端子形の電気的特性

項目 \ 形式	CS-77F-7(中間用)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150
挿入損失 [dB](以下)	2.0	1.5	2.0	2.2	3.4
結合損失 [dB](以下)	16.0	15.0	16.0	17.5	18.5
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	25.0	20.0	18.0	15.0
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0

項目 \ 形式	CS-77F-7W(中間用)(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB](以下)	2.0	1.8	2.0	2.5	4.0	5.0
結合損失 [dB](以下)	16.0	15.0	16.0	17.5	19.0	20.0
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	25.0	20.0	18.0	15.0	15.0
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.5

項目 \ 形式	CS-77F-R(端末用)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150
結合損失 [dB](以下)	13.0	12.0	13.0	14.5	15.0
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0

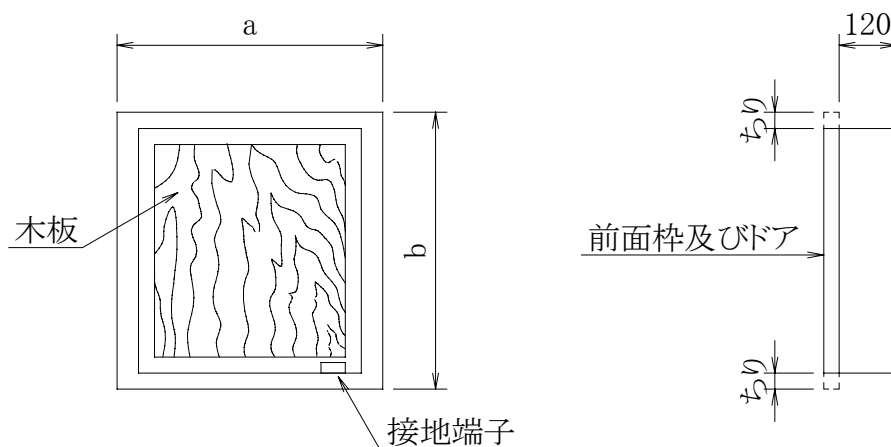
  

項目 \ 形式	CS-77F-RW(端末用)(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
結合損失 [dB](以下)	13.0	12.0	13.0	14.5	15.5	16.5
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.5



[単位 mm]

(1) 記号及び寸法



- 備考 (1) 前面枠の破線部分は、埋込形の場合を示し、ちりは15~25mmとする。  
 (2) ドア前面に名称板を設ける。  
 (3) 増幅器を収容するものは、放熱口を設ける。

記号及び寸法

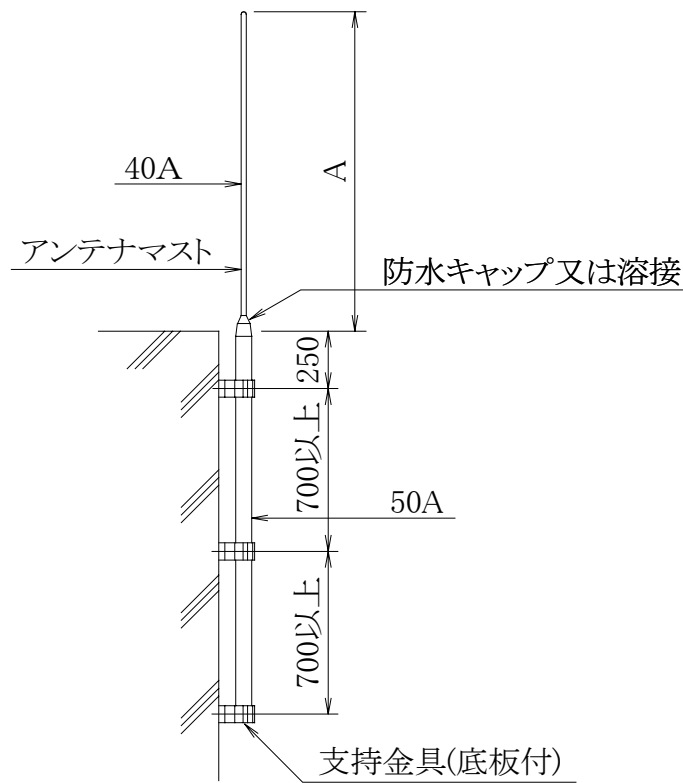
分類	表示		
	記号	内容	
名称	TV	機器収容箱	
キャビネット形式	G	埋込形折曲式	
	T	露出形折曲式	
箱寸法	-	a	b
	1	300	300
	2	400	400
	3	450	450
	4	500	500
	5		600
	6		1,000
	7		1,100
	8	600	1,000
	9		1,200

- 備考 (1) キャビネット形式及び鋼板の厚さは、端子盤の項による。  
 (2) 木板は、電線、機器を取付けるのに十分な大きさとする。  
 (3) 寸法は、最小値を示す。

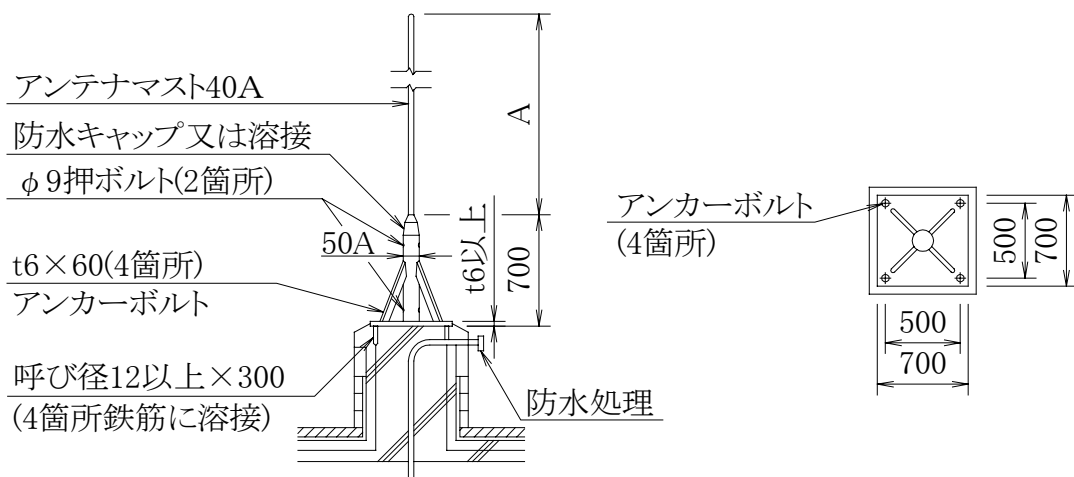
(2) 表示例

	記号	説明
例1	TV-G3	埋込形折曲式で箱寸法450mm×450mm×120mmの機器収容箱

[単位 mm]



壁面取付け形 (AV・AU用)



自立形 (AV・AU用)

- 備考 (1) 図は、アンテナマスト下部にSTPG38-50Aを使用した場合の一例を示す。  
 (2) アンテナマストの管径及び管の仕様は、建築基準法施行令第87条による風圧力に耐えるものとする。  
 (3) A=3,000を標準とする。

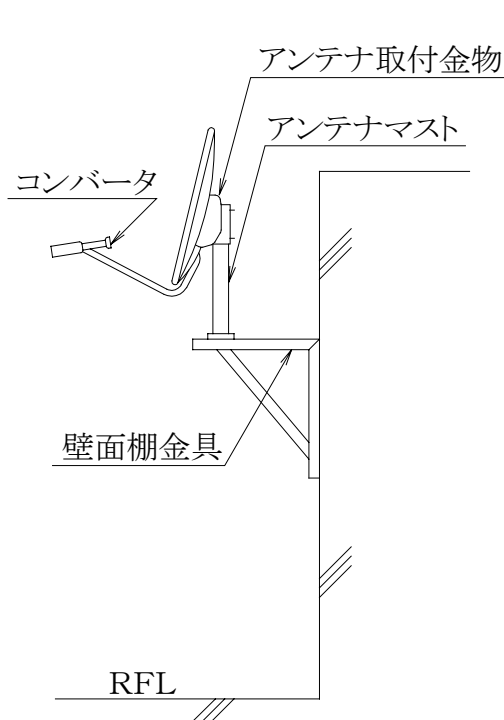
# テレビ共同受信14 アンテナマストの取付2

ANT-1

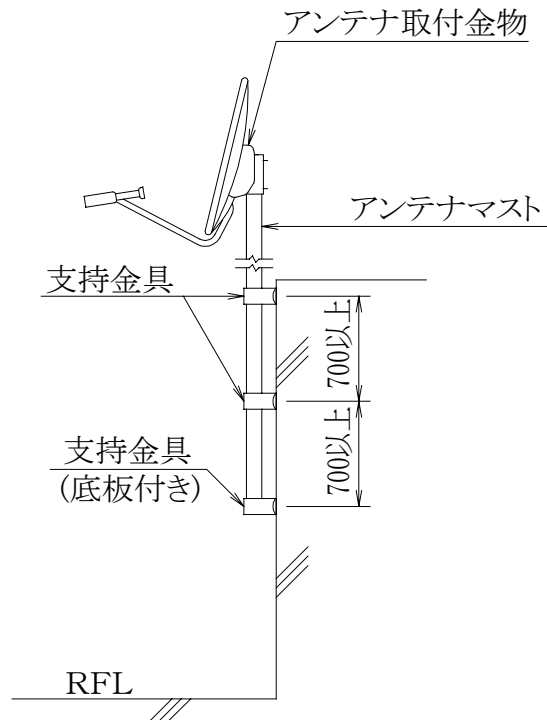
ANT-2

ANT-3

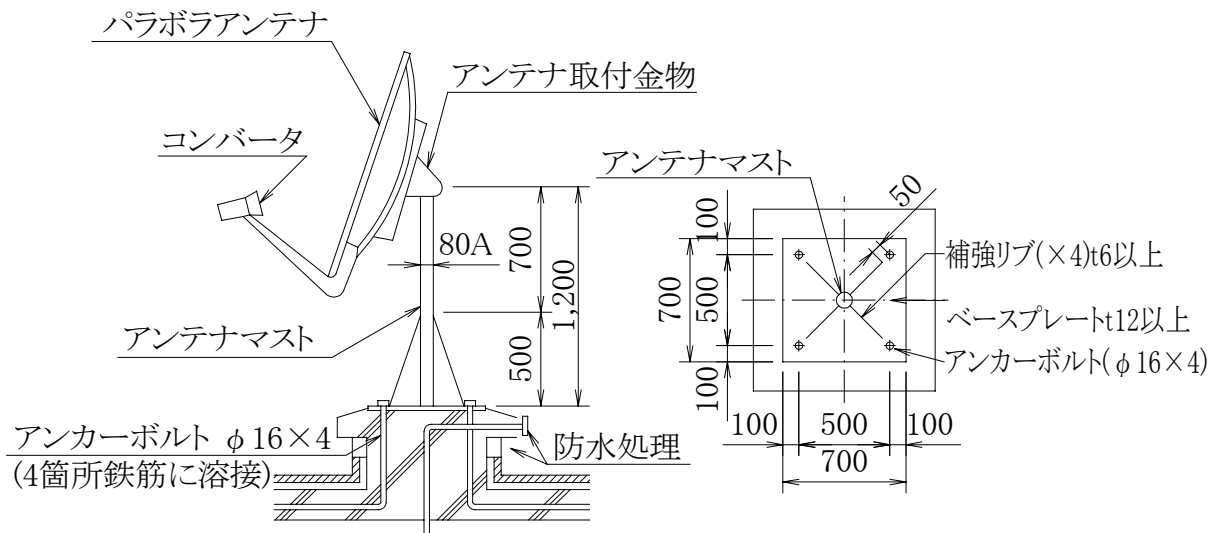
[単位 mm]



ANT-1 壁面取付形



ANT-2 壁面取付形



ANT-3 自立形

備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) アンテナマストの管径及び管の仕様は、建築基準法施行令第87条による風圧力に耐えるものとする。

# テレビ電波障害1 増幅器、電源供給器

VA・UVA・  
VB-1・VB-2・  
UVB・MA-1

## (1) 増幅器

項目	幹線分岐増幅器						線路増幅器			
	VHF用		VHF・UHF用				VHF用		VHF・UHF用	
	VA		UVA				VB-1	VB-2	UVB	
	出力端子	分岐端子	出力端子		分岐端子				VHF	UHF
		VHF	UHF	VHF	UHF			VHF	UHF	
周波数帯域〔MHz〕	76~108 170~222		76~222	470~770	76~222	470~770	76~108 170~222		76~108 170~222	470~770
利得〔dB〕	15以上	28以上	6.5	13	25	24.5	L:30以上 H:35以上	L:30以上 H:35以上	L:30以上 H:35以上	40以上
定格出力レベル〔dB〕	95以上	108以上	86.5	93*1	105	104.5*1	L:105以上 H:110以上	L:95以上 H:102以上	L:105以上 H:110以上	115以上*2
利得調整範囲〔dB〕	0~-12		2.5~-4	5~-7.5	-	-	10以上		10以上	
帯域内周波数特性〔dB〕	±1.0	±2.0	±1.0	±2.0	±1.5	±2.5	±2.0		±2.0	
雑音指数〔dB〕（最大利得時）	15以下		12以下		15以下		10以下		12以下	
入出力インピーダンス〔Ω〕	75		75		75		75		75	
電圧定在波比	2.0以下		2.0以下	2.5以下	2.0以下	2.5以下	2.5以下		2.5以下	3.0以下
相互変調〔dB〕（定格出力時）	-60以下	-55以下	-73.5以下	-	-53.5以下	-	-55以下		-55以下	-
混変調〔dB〕（定格出力時）	-56以下	-46以下	-83以下	-80以下	-47以下	-49以下	-46以下 { L:2波 H:5波		-46以下 { L:2波 H:5波	-46以下2波
利得安定度〔dB〕（温度-10~+40℃）	±1.5以内		±0.5以内		±1.0以内		±2.0以内		±2.0以内	
ハム変調〔dB〕	-60以下	-54以下	-63以下		-63以下		-60以下		-60以下	
入出力接栓座	F形接栓又はフィッティングコネクタ									
耐雷性	±15〔kV〕（1.2×50〔μs〕）									
電源電圧	AC25~30〔V〕 50/60〔Hz〕									

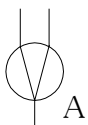
- 備考 (1) 幹線分岐増幅器の分岐出力端子数は、4とする。  
 (2) VHF用幹線分岐増幅器の分岐出力端子は、1端子形の使用も可とする。  
 (3) 増幅器は、防水形とし、メッセンジャーワイヤ、電柱又は壁面いずれにも取付可能なものとする。
- 注 \*1 UHF多チャンネル伝送時、運用レベルに注意すること。  
 \*2 アナログ7波とデジタル9波伝送時の値とする。ただしデジタル9波は-10dB運用とする。

## (2) 電源供給器

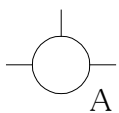
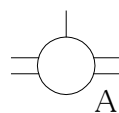
項目	形式
入力電圧〔V〕	MA-1 100
出力電圧〔V〕	30
周波数〔Hz〕	50/60
出力電流〔A〕	3
安定度(出力電圧) (温度-20~+40℃)	入力電圧90~110Vにおいて出力電圧27~30V
避雷	入出力に避雷回路を有すること

## テレビ電波障害2 混合(分波)器、分配器、MA・DA・CA 分岐器、保安器

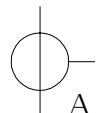
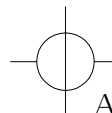
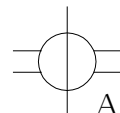
### (1) 混合(分波)器

項目	形式	MA-1	摘要
周波数帯域〔MHz〕		76~108、170~222	FM、V <sub>LO</sub> 、V <sub>HI</sub>
通過帯域損失〔dB〕		1.5以下	
阻止帯域減衰量〔dB〕		20以上	
入・出力VSWR		2.0以下	
シンボル			

### (2) 分配器

項目	形式	DA-2		DA-4	
周波数帯域〔MHz〕		76~108、170~222	470~770	76~108、170~222	470~770
分配損失〔dB〕		4.0以下	4.0以下	8.0以下	8.0以下
定在波比		1.6以下	1.8以下	1.6以下	1.8以下
分配損失〔dB〕		20以上	15以上	20以上	15以上
シンボル					

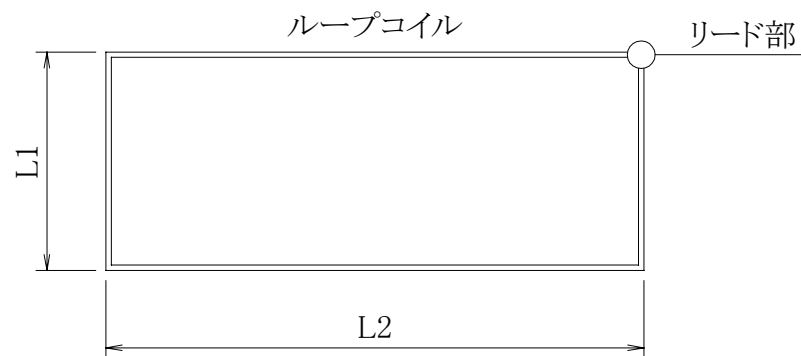
### (3) 分岐器

項目	形式	CA-101、102、104		CA-151、152、154		CA-201、202、204	
周波数帯域〔MHz〕		76~108 170~222	470~770	76~108 170~222	470~770	76~108 170~222	470~770
結合損失〔dB〕		10形(V±1.0V±1.5)		15形(V±1.0V±1.5)		20形(V±1.0V±1.5)	
挿入損失〔dB〕	1分岐	1.5以下	2.0以下	1.0以下	2.0以下	1.0以下	1.5以下
	2分岐	2.0以下	3.0以下	1.5以下	2.5以下	1.0以下	2.0以下
	4分岐	4.0以下	5.0以下	2.0以下	3.0以下	1.5以下	2.5以下
定在波比		1.6以下	1.8以下	1.6以下	1.8以下	1.6以下	1.8以下
逆方向結合損失〔dB〕		25以上	20以上	25以上	20以上	25以上	20以上
分岐端子結合損失〔dB〕		20以上	15以上	20以上	15以上	20以上	15以上
シンボル		 (CA-101、151、201)		 (CA-102、152、202)		 (CA-104、154、204)	

### (4) 保安器

周波数帯〔MHz〕	76~470	470~770
入出力インピーダンス〔Ω〕	75	75
挿入損失〔dB〕	0.5以下	1.0以下
電圧定在波比	1.5以下	1.8以下
絶縁耐圧〔V〕	AC1,000(1分間)	
絶縁抵抗〔MΩ〕 (入出力端子間、出力端子-接地端子間)	1以上	
避雷性 (入力端子、出力端子-接地端子間)	5kV(10×200μs)のサージ電圧に耐えること。	

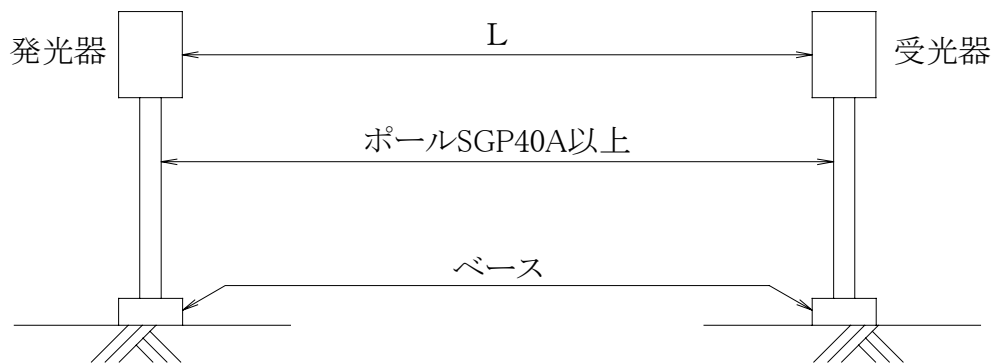
[単位 mm]



(1) ループコイル式検知器の記号

記号	$L_1+L_2$
LPC-3	3,000以下
LPC-4	3,001～4,000
LPC-5	4,001～5,000
LPC-6	5,001～6,000

- 備考 (1) 図は、一例を示す。  
 (2) ループコイルの太さは、製造者の標準とする。  
 (3) リード部の長さは、20m附属するものとする。

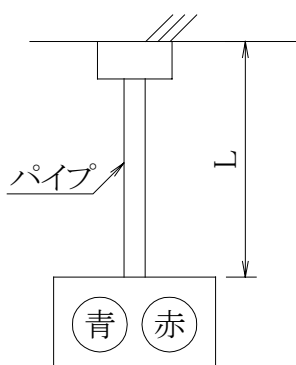


(2) 光線式検知器の記号

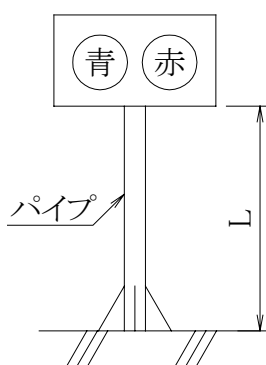
形式	発光器の記号	受光器の記号	L	材質・材厚
スタンド形	FTR-S	CDS-S	10m以下	SPC 1.2
壁露出形	FTR-W	CDS-W		SPC 1.2又はSUS 1.2
壁埋込形	FTR-R	CDS-R		

- 備考 図は、一例を示す。

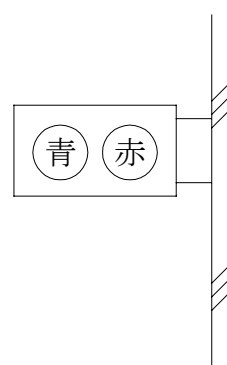
[単位 mm]



SGL-P  
(天井つり下げ形)



SGL-S  
(自立形)



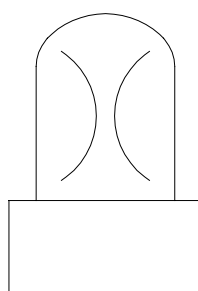
SGL-W  
(壁掛形)

(1) 信号灯の仕様

記号	寸法		材質・材厚		
	L	レンズ径	本体	パイプ	レンズ
SGL-P	500 ~ 1,500	φ120 以上	SPC1.2 以上	SGP25A 以上	硬質ガラス 又は 耐熱アクリル
SGL-S	1,000			SGP50A 以上	
SGL-W	—			—	

備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) 末尾にwを付した場合は、両面形とする。(例:SGL-Ww)

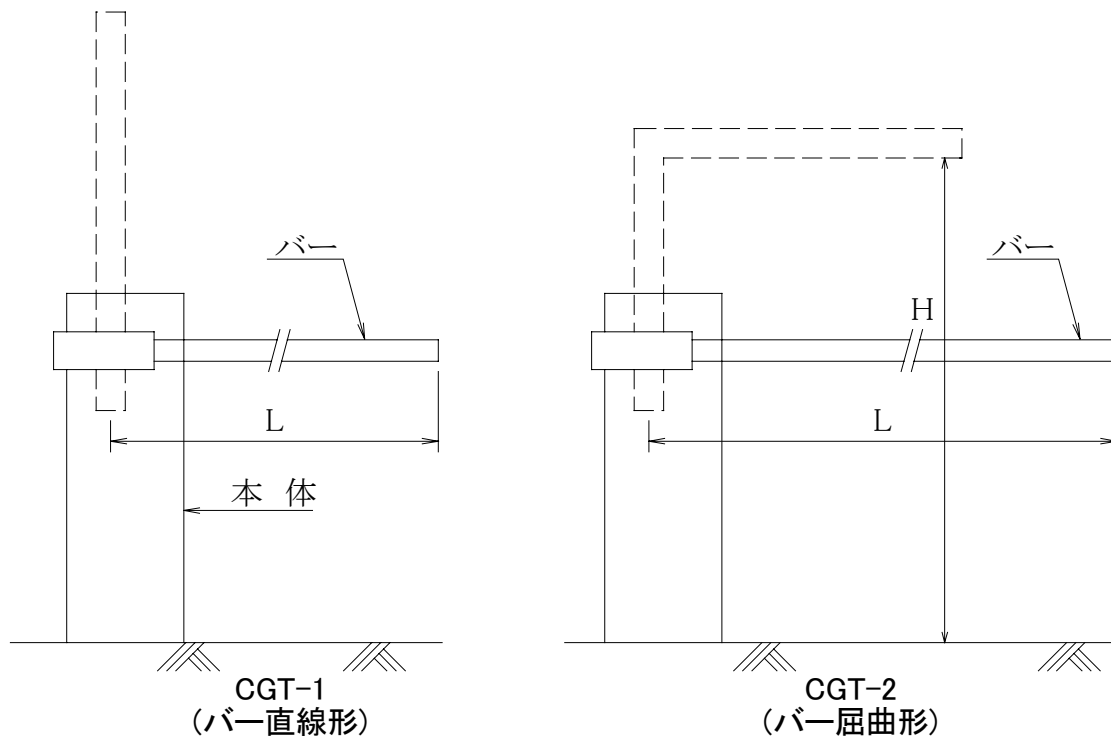


RSL  
(警報灯)

(2) 警報灯の仕様

記号	閃光数又は 点滅回数	材質・材厚	
		本体	グローブ
RSL	120回/分以上	SPC1.2	ポリカーボネート t2

備考 図は、一例を示す。



(1) 記号

バー形式	記号	L	H
バー直線形	CGT-1	3,000以下	—————
バー屈曲形	CGT-2	3,000以下	2,300以上

- 備考 (1) 図は、一例を示す。  
 (2) バーの材質は、鋼製とする。  
 (3) Gを付したものは、バーの材質をグラスファイバとし、Aを付したものは、バーの材質をアルミとする。(例:CGT-1-A)



# 中央監視制御

# 信号入出力条件

